

2024 年度授業評価アンケート実施報告

【2024 年度授業評価アンケート実施の総括】

2024 年度のアンケートは Web 回答方式に変更して 5 年目の実施となりました。

2023 年度に引き続き、アンケート回収率の改善に向け、「可能な限り授業の最後に時間を設けてその場で回答してもらう」「回答期間終了の 1 週間前に、事務局から T-navi でリマインドを行うとともに、教員からも Google Classroom 等を通じてリマインドを行う」ことを実施したところ、回収率の改善が見られました。

一方で、助産研究科の後期・通年開講科目では、回収率が 10%未満の科目が 10 科目、0%の科目が 1 科目あり、引き続き回収率の改善に向けて対策が必要と考えます。

【授業評価アンケート回答率（平均）の推移】

単位：％

	2021 年度		2022 年度		2023 年度		2024 年度	
	前期	後期・通年	前期	後期・通年	前期	後期・通年	前期	後期・通年
学部	62.0	35.3	61.2	54.1	67.3	59.4	69.4	64.5
助産	35.2	9.1	20.3	18.3	20.3	4.9	34.4	12.2

2023 年度から進めてきた授業評価アンケートの見直しについて、FD 研修会や学科・科・研究科会議等での検討にご協力をありがとうございました。

新たな設問項目と選択肢については、2024 年 12 月 9 日の教育研究評議会で承認されました。また、新しいアンケートの名称を「授業評価アンケート」から変更して「授業アンケート」とします。

ただし、新しいアンケートの運用開始時期は新教務システム稼働開始の 2026 年度に延長となりましたので、現行アンケートを 2025 年度も引き続き実施いたします。

最後に、授業評価アンケート実施にあたりご協力いただきました多くの学生、教職員の皆さまに心よりお礼申し上げます。

【アンケート実施の目的】

学生による授業評価アンケートは、学生の視点から授業改善の手がかりを探り、個々の授業改善につなげることで教育の質を向上させることを目的とする。

【アンケートの概要】

1. 実施方法

原則、全科目を対象とし、授業最終日にアンケート方式により実施した。ただし、匿名性担保のため、履修人数が10名以下の科目は対象外とした。

2. アンケートの回答方法

T-navi にログインし、Web 上で回答する方法とした。

3. アンケート設問項目

1) 講義、演習用

(1) 学部、大学院看護栄養学研究科：選択式12問及び自由記載（「良かった点」「改善してほしい点」「その他、授業に関する意見・要望」）

(2) 助産研究科：選択式15問及び自由記載（「良かった点」「改善してほしい点」）

2) 臨地実習用

(1) 学部、大学院看護栄養学研究科：選択式9問及び自由記載（「良かった点」「改善してほしい点」「その他、授業に関する意見・要望」）

(2) 助産研究科：実習科目ごとに助産研究科で検討し、毎年度4月のFDSD委員会で承認する。

4. アンケート結果の集計

アンケート集計表の作成は、日本通信紙株式会社に委託し、前期と後期・通年科目と分けて集計した。

1) 設問項目別回答分布表

人数、選択肢ごとの平均、前期又は後期開講科目全体の平均

2) 回答分布

100%積み上げ縦棒グラフ

3) 評価レーダーチャート

選択肢ごとの平均、前期又は後期開講科目全体の平均

ただし、設問12はレーダーチャートから外すこととする。

その他、アンケート結果の解釈・判断のため、「回収率」を表示する。

4) アンケートに対する科目責任者のコメントについて

科目責任者のコメント欄は、「自由記載に対するコメント」及び「結果全体に対するコメント」欄に分け、「結果全体に対するコメント」欄は、全科目責任者が記載することとした。

「自由記載に対するコメント」は、回答が必要と科目責任者が判断した内容について抽出し、その回答とあわせて記載した。なお、自由記載は学生には公開されないため、コメントを記載する際は、どんな意見であったかも必ず記載する。

記載にあたっては、Excel 版の集計表を事務局から科目責任者にメールで配信し、それぞれの欄に入力して返信する方法をとった。

5. アンケート集計速報の閲覧について

回答期間終了後すぐに、学生は自身の履修科目の集計結果（グラフ）を、教員は自身の担当科目の集計結果及び自由記載を閲覧可能とした。

6. 授業の改善を図るための取り組み

平均点が 3.0 未満の低評価の設問が 2 つ以上ある科目があった場合、委員会での審議を経て科目責任者の教員に対して、原因の分析および具体的な改善計画を立案し、授業改善計画書としてまとめ、提出することとした。

2024 年度については、前期開講科目及び後期・通年開講科目のすべてにおいて、該当する科目はなかった。

7. アンケート結果の公表

- 1) 科目ごとの PDF ファイルを、教職員には学内 LAN 掲示板、学生には GoogleDrive に掲載して公開する。
- 2) 科目責任者が非常勤講師の場合は、FDSD 委員会事務局担当からメールで配付する。

【別紙1 アンケート質問項目】

学部、大学院看護栄養学研究科 講義・演習用（選択肢 12 問、自由記載 3 問）

	質問項目	評価の選択肢
①	授業概要を読んで科目の概要、目標が理解できた	①理解できた ②ある程度理解できた ③あまり理解できなかった ④理解できなかった
②	授業の評価方法は適切だった	①適切だった ②ある程度適切だった ③あまり適切ではなかった ④適切ではなかった
③	授業は、授業概要の計画通りに進められた	①計画通りだった ②ある程度計画通りだった ③多少計画とは違った ④計画とは違った
④	教材、参考文献の提示は適切だった	①適切だった ②ある程度適切だった ③あまり適切ではなかった ④適切ではなかった
⑤	授業の方法（グループワーク、演習、視聴覚教材等の活用）は適切だった	①適切だった ②ある程度適切だった ③あまり適切ではなかった ④適切ではなかった
⑥	教員は学生の質問・発言に適切に応答していた	①適切だった ②ある程度適切だった ③あまり適切ではなかった ④適切ではなかった
⑦	授業で要求される作業量（レポート、課題など）は適切であった（③あまり適切ではなかった又は④適切ではなかったを選択した方は、⑬にその理由を記載してください）	①適切だった ②ある程度適切だった ③あまり適切ではなかった ④適切ではなかった
⑧	授業の内容を理解できた	①理解できた ②ある程度理解できた ③あまり理解できなかった ④理解できなかった
⑨	授業によって、自分の考えを深めることができた	①深めることができた ②ある程度深めることができた ③あまり深めることができなかった ④深めることができなかった
⑩	授業によって、さらに学びを広げたいと感じた	①広げたいと感じた ②ある程度広げたいと感じた ③あまり広げたいと感じなかった ④広げたいと感じなかった

⑪	授業全般を通し、この授業に満足した	①満足した ②ある程度満足した ③あまり満足しなかった ④満足しなかった
⑫	1 回の授業に対してどの程度自己学習（予習・復習・課題を含む）を行いましたか	①2 時間以上 ②1 時間以上 2 時間未満 ③30 分以上 1 時間未満 ④30 分未満
⑬	設問⑦で選択肢③あまり適切ではなかった又は選択肢④適切ではなかったを選択した方は、その理由（多い、少ないなども含めて）を記載してください。	
⑭	この授業について、良かった点を記載してください。	
⑮	この授業について、改善してほしい点を記載してください。	
⑯	その他、この授業に関する意見・要望があれば記載してください。	

	質問項目	評価の選択肢
①	オリエンテーションの内容は適切でしたか	①適切だった ②ある程度適切だった ③あまり適切ではなかった ④適切ではなかった
②	この科目における実習の目的や目標は明確でしたか	①明確だった ②ある程度明確だった ③あまり明確ではなかった ④明確ではなかった
③	教員や指導者は、学生を尊重し、真剣に関わりましたか	①関わった ②ある程度関わった ③あまり関わらなかった ④関わらなかった
④	教員と指導者は、連携をとりながら指導しましたか	①連携していた ②ある程度連携していた ③あまり連携していなかった ④連携していなかった
⑤	実習課題や記録物の量は適切でしたか	①適切だった ②ある程度適切だった ③あまり適切ではなかった ④適切ではなかった
⑥	教員や指導者に相談や質問ができる体制が整っていましたか	①整っていた ②ある程度整っていた ③あまり整っていなかった ④整っていなかった
⑦	実習に使用する教材、参考文献の提示は適切だった	①適切だった ②ある程度適切だった ③あまり適切ではなかった ④適切ではなかった
⑧	あなたは、実習に積極的に取り組みましたか	①十分にできた ②ある程度できた ③あまりできなかった ④できなかった
⑨	あなたは、実習の目標を達成できましたか	①達成できた ②ある程度達成できた ③あまり達成できなかった ④達成できなかった
⑩	この授業について、良かった点を記載してください。	
⑪	この授業について、改善してほしい点を記載してください。	
⑫	その他、この授業に関する意見・要望があれば記載してください。	

とてもそう思う（４）、ある程度そう思う（３）、あまりそう思わない（２）、そう思わない（１）

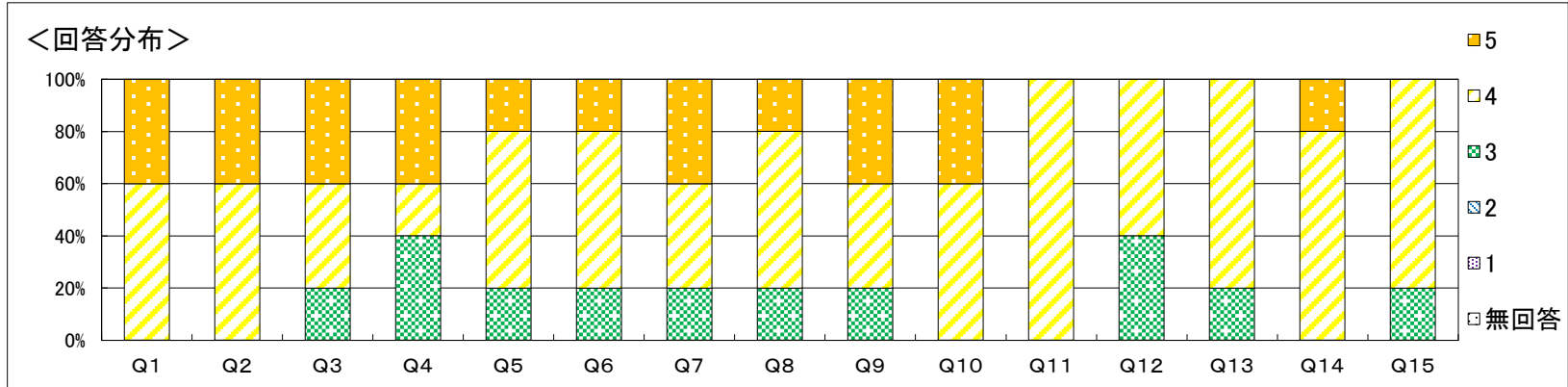
①	シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた。
②	授業の構成は体系的に行われていた。
③	授業の時間数は適当だった。
④	授業の進行は適切だった。
⑤	授業方法、形態（対話・討論型授業、ワークグループなど）は適切だった。
⑥	視聴覚教材（黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど）は理解の促進に効果的だった。
⑦	授業内容はわかりやすく説明されていた。
⑧	授業で要求される作業量（レポート、宿題など）は適切だった。
⑨	教員は効果的に院生の参加（発言、自己学習、作業など）を促した。
⑩	教員は院生の質問・発言等に適切に対応した。
⑪	自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した。
⑫	自分は指定図書を活用し、授業に参加した。
⑬	自分は授業の事前・事後学習（課題を含む）を行った。
⑭	自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた。
⑮	自分は授業の履修目標は達成できた。
⑯	この授業について、良かった点を記載してください。
⑰	この授業について、改善してほしい点を記載してください。

科目名	(500001) 4000012F11100100 助産学概論		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎1年	回収数	5人
必修・選択の別	必修	回収率	26.3%

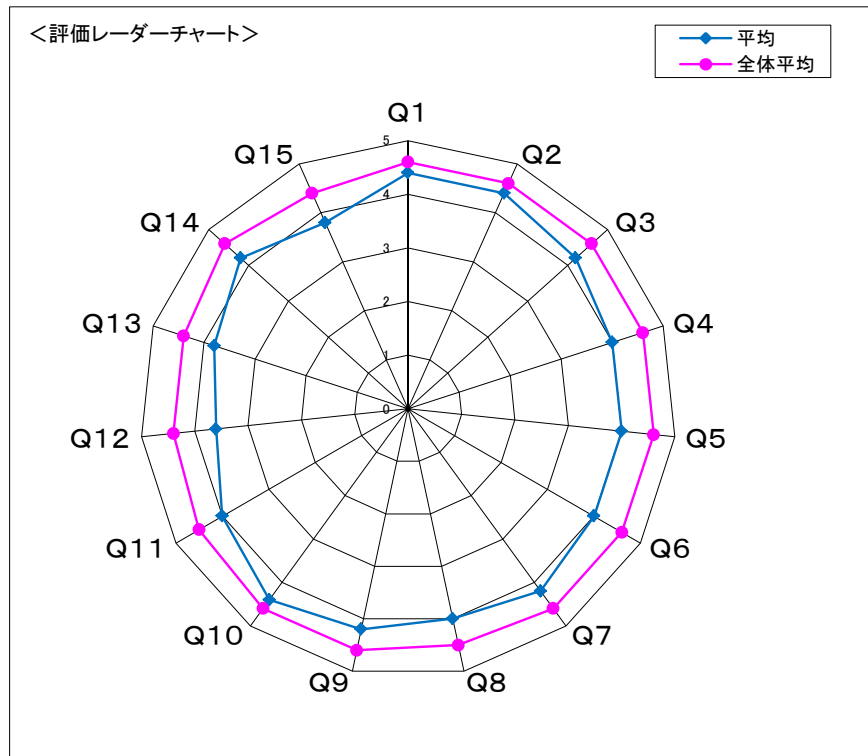
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	2	3	0	0	－	0	4.4	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	2	3	0	0	－	0	4.4	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	2	2	1	0	－	0	4.2	4.6
4. 授業の進行は適切だった	2	1	2	0	－	0	4.0	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	1	3	1	0	－	0	4.0	4.6
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	1	3	1	0	－	0	4.0	4.6
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	2	2	1	0	－	0	4.2	4.6
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	1	3	1	0	－	0	4.0	4.5
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	2	2	1	0	－	0	4.2	4.6
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	2	3	0	0	－	0	4.4	4.6
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	0	5	0	0	－	0	4.0	4.5
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	0	3	2	0	－	0	3.6	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	0	4	1	0	－	0	3.8	4.4
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	1	4	0	0	－	0	4.2	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	0	4	1	0	－	0	3.8	4.4

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント

1.回収率が低いことに対する学生への評価に対する認識を改めるように指導すること。この回答率の低さは全学的な傾向にあるようだから、学習者からの評価は何のためにあるのか、を説明し理解を深めるように、教員と学生共に周知する。

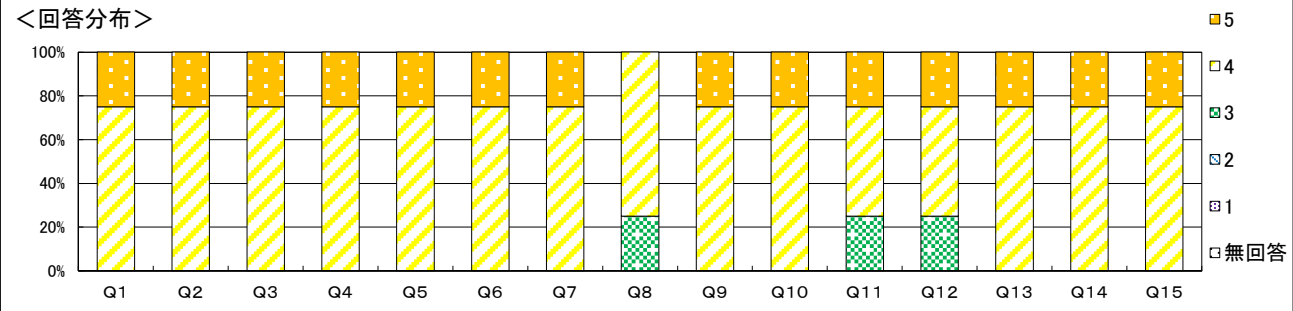
2. 授業の進め方と内容等について、工夫した点と各項目で反映される内容を照合して、次年度の講義の改善を図ること。その経年的変化を2年ごとに比較検討出来たらよい。

科目名	(500018) 40000182F11100200 助産哲学・倫理 I		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎1年	回収数	4人
必修・選択の別	必修	回収率	21.1%

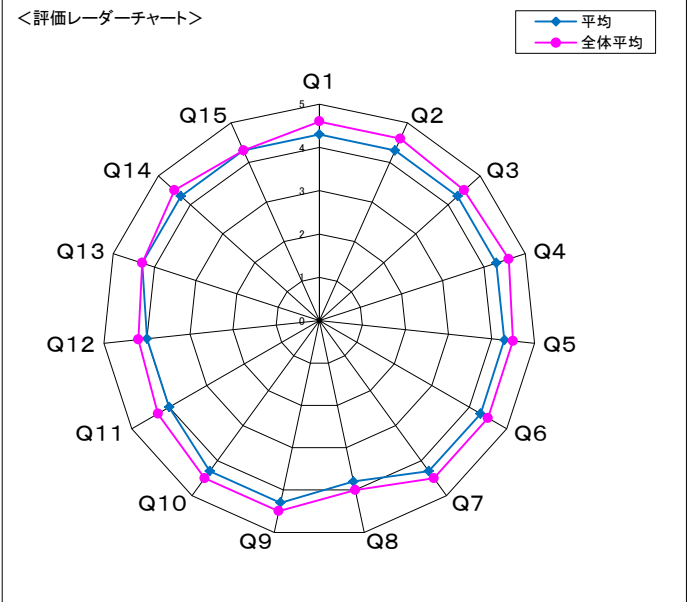
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	1	3	0	0	－	0	4.3	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	1	3	0	0	－	0	4.3	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	1	3	0	0	－	0	4.3	4.5
4. 授業の進行は適切だった	1	3	0	0	－	0	4.3	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	1	3	0	0	－	0	4.3	4.5
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	1	3	0	0	－	0	4.3	4.5
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	1	3	0	0	－	0	4.3	4.5
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	0	3	1	0	－	0	3.8	4.0
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	1	3	0	0	－	0	4.3	4.5
10. 教員は院生の質問・発言等適切に対応した	1	3	0	0	－	0	4.3	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	1	2	1	0	－	0	4.0	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	1	2	1	0	－	0	4.0	4.2
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	1	3	0	0	－	0	4.3	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	1	3	0	0	－	0	4.3	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	1	3	0	0	－	0	4.3	4.3

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

なし

結果全体に対するコメント

アンケートの声掛けを忘れたため、18人中(1名休学)4名(25%)の回答であり、何とも言えないが、そう思うがほとんどであり、悪くなかったと捉える。課題は多く課しておらず、適切と考える。

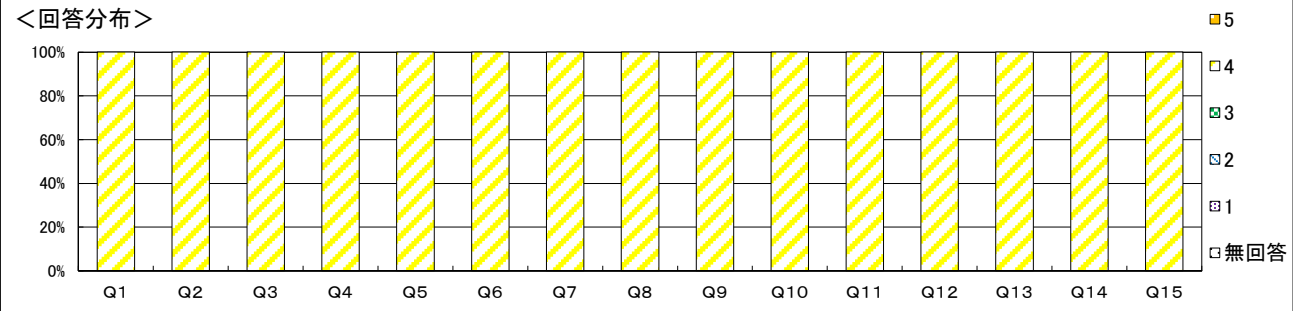
来年度は、担当者・授業内容が変わる。

科目名	(500019) 40000192F11100300 助産哲学・倫理Ⅱ		
学科	助産研究科	履修者数	11人
学年	基礎2年	回収数	1人
必修・選択の別	選択	回収率	9.1%

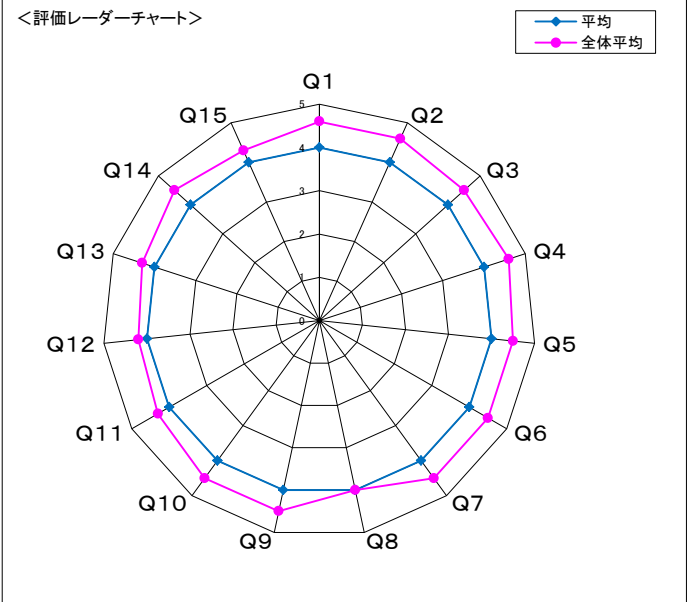
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
4. 授業の進行は適切だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.0
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
10. 教員は院生の質問・発言等適切に対応した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.2
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	0	1	0	0	－	0	4.0	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.3

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

DVDを使用して、倫理、行動、命を考えたのは良かった。

結果全体に対するコメント

アンケートの声掛けを忘れ、1／11名(9%)の回答であるため、何とも言えない。
上記コメントを頂いたので、概ね良かったと捉える。

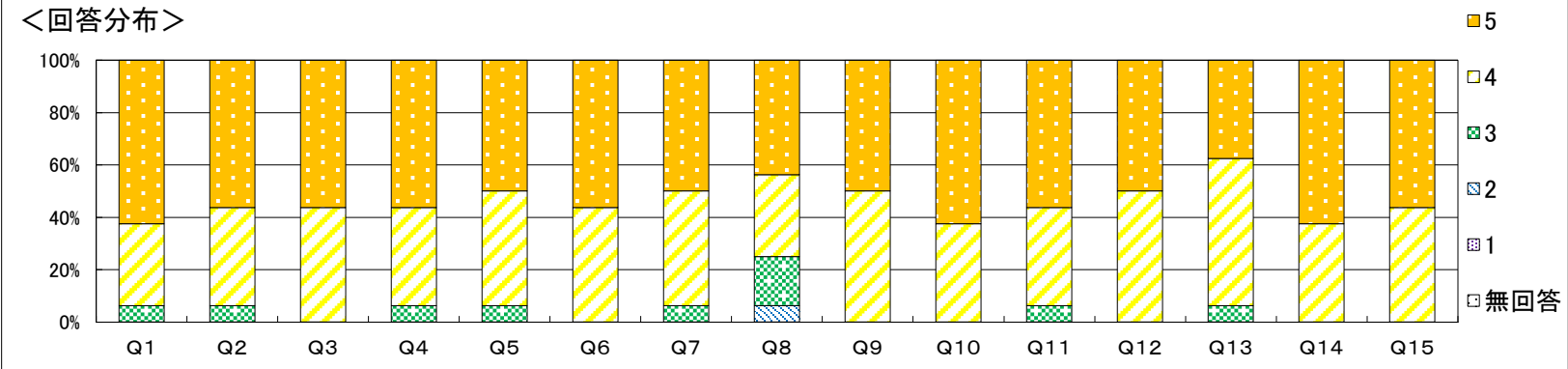
来年度は、担当者・授業内容が変わる。

科目名	(500002) 4000022F11100400 出産の文化		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎1年	回収数	16人
必修・選択の別	必修	回収率	84.2%

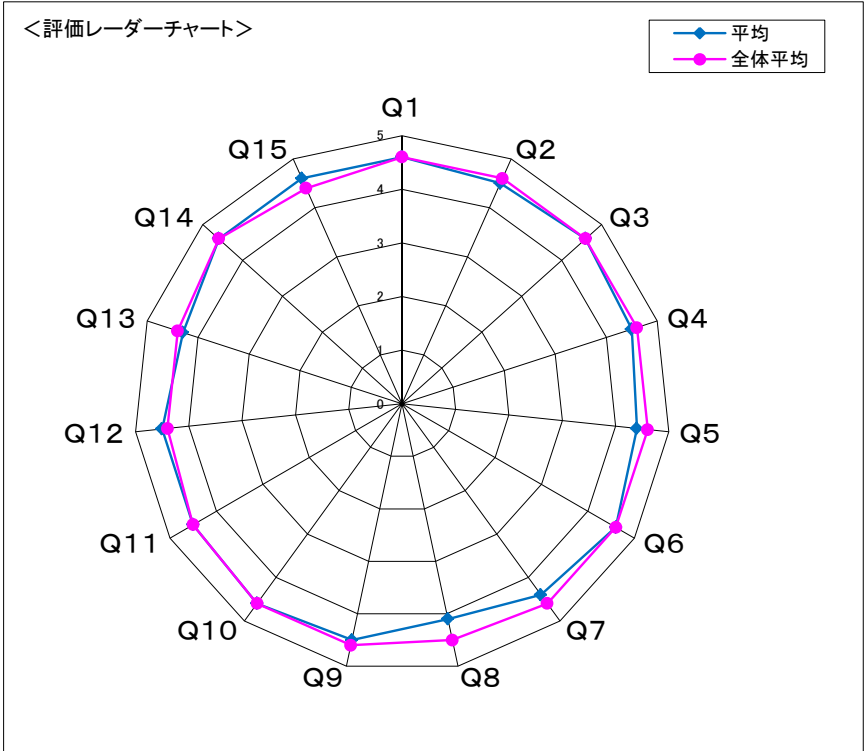
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	10	5	1	0	－	0	4.6	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	9	6	1	0	－	0	4.5	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	9	7	0	0	－	0	4.6	4.6
4. 授業の進行は適切だった	9	6	1	0	－	0	4.5	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	8	7	1	0	－	0	4.4	4.6
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	9	7	0	0	－	0	4.6	4.6
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	8	7	1	0	－	0	4.4	4.6
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	7	5	3	1	－	0	4.1	4.5
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	8	8	0	0	－	0	4.5	4.6
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	10	6	0	0	－	0	4.6	4.6
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	9	6	1	0	－	0	4.5	4.5
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	8	8	0	0	－	0	4.5	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	6	9	1	0	－	0	4.3	4.4
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	10	6	0	0	－	0	4.6	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	9	7	0	0	－	0	4.6	4.4

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

なし

結果全体に対するコメント

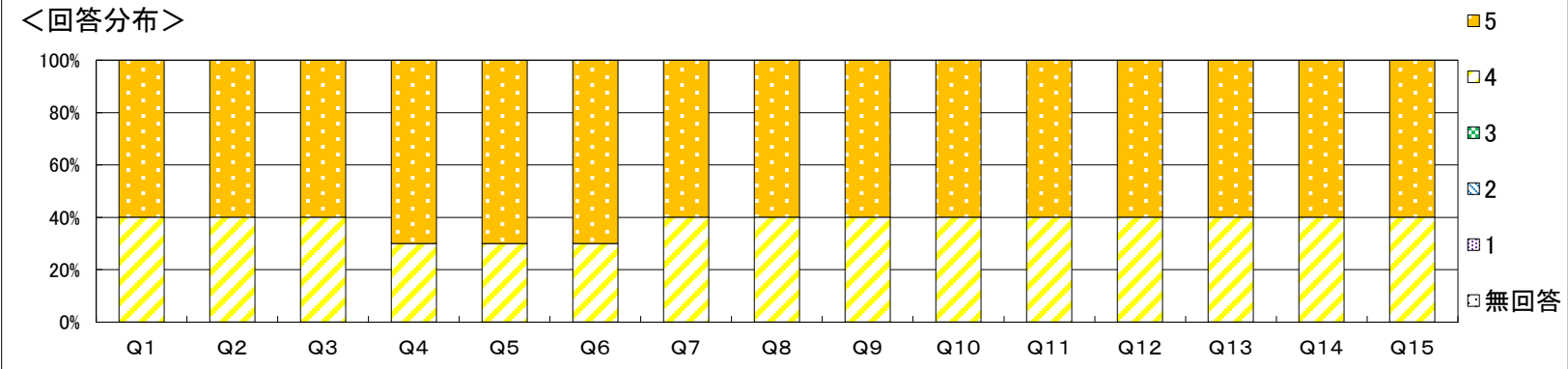
履修目標達成は、学科全体より高く、目的に沿って学べたと思う。グループワーク、課題量、作業、自己学習についてが若干低くなっており、授業内容が盛沢山で、ワークが多かったためと思われる。内容を精査し、負担になり過ぎないように授業を工夫する必要がある。また、開講時期が、忙しい1年前期であるため、時期の検討が必要である。

科目名	(500003) 4000032F11200100 女性のフィジカルイグザミネーション		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎1年	回収数	10人
必修・選択の別	必修	回収率	52.6%

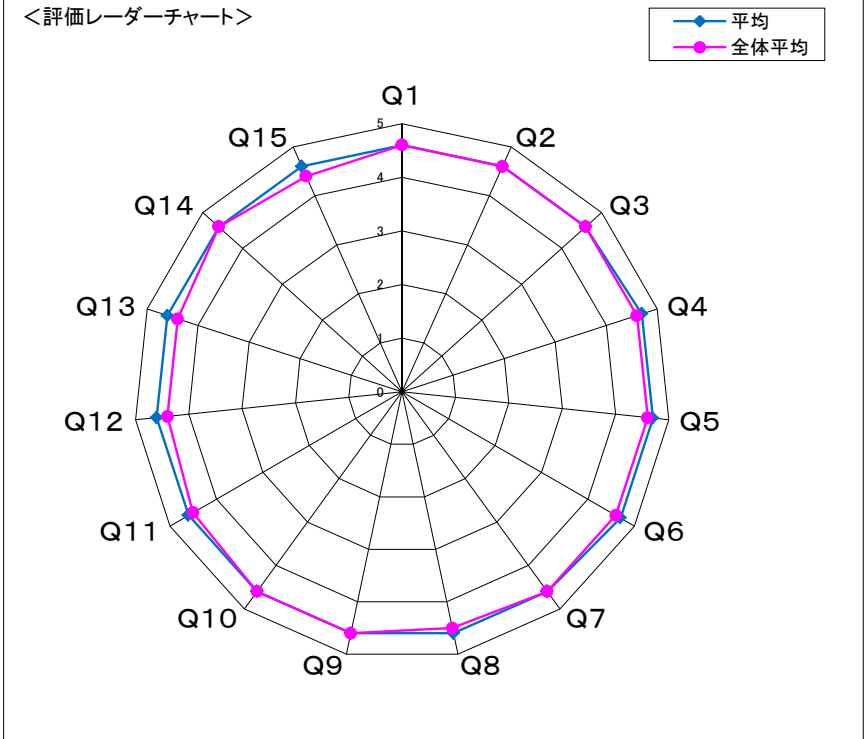
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	6	4	0	0	－	0	4.6	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	6	4	0	0	－	0	4.6	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	6	4	0	0	－	0	4.6	4.6
4. 授業の進行は適切だった	7	3	0	0	－	0	4.7	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	7	3	0	0	－	0	4.7	4.6
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	7	3	0	0	－	0	4.7	4.6
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	6	4	0	0	－	0	4.6	4.6
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	6	4	0	0	－	0	4.6	4.5
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	6	4	0	0	－	0	4.6	4.6
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	6	4	0	0	－	0	4.6	4.6
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	6	4	0	0	－	0	4.6	4.5
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	6	4	0	0	－	0	4.6	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	6	4	0	0	－	0	4.6	4.4
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	6	4	0	0	－	0	4.6	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	6	4	0	0	－	0	4.6	4.4

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

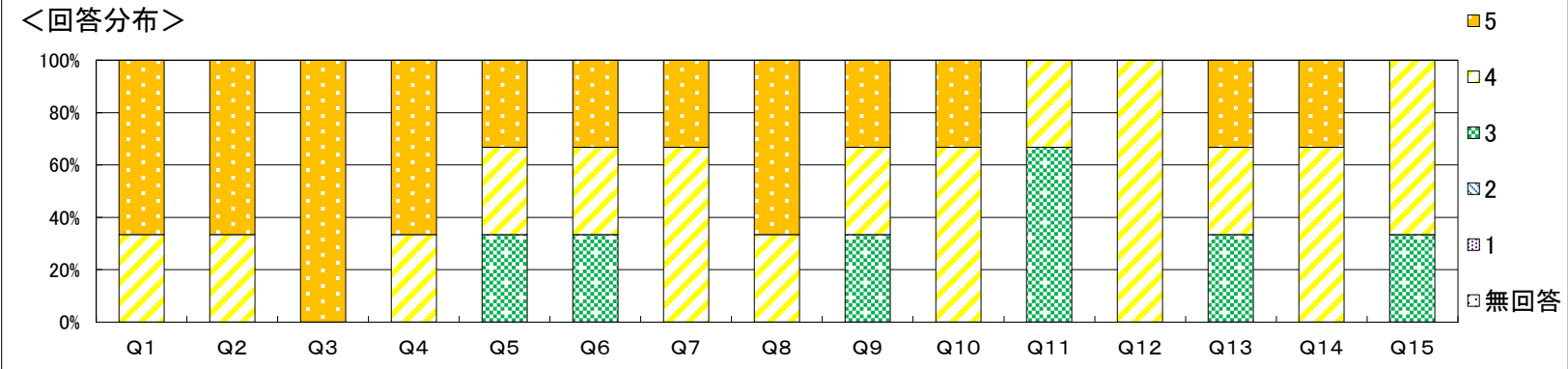
結果全体に対するコメント
本科目の評価は、全体平均と同等もしくは上回っている。さらに、すべて4, 5の評価であり、学習目標は概ね達成されたと考える。今年度は、演習内容を実習に近い、もしくはいかしていけるような内容としたことが評価された可能性がある。今後も、実際の臨床現場にいかせるような演習を考え、興味をもち積極的に参加できる授業を組み立てていくこととする。

科目名	(500004) 4000042F11200200 助産薬理学 I		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎1年	回収数	3人
必修・選択の別	必修	回収率	15.8%

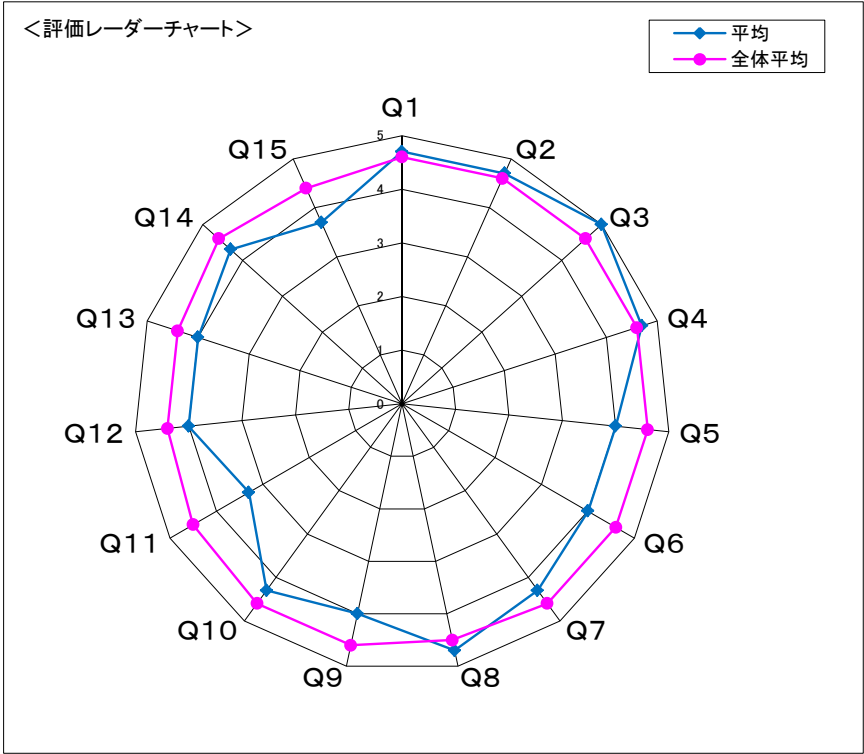
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	2	1	0	0	－	0	4.7	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	2	1	0	0	－	0	4.7	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	3	0	0	0	－	0	5.0	4.6
4. 授業の進行は適切だった	2	1	0	0	－	0	4.7	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	1	1	1	0	－	0	4.0	4.6
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	1	1	1	0	－	0	4.0	4.6
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	1	2	0	0	－	0	4.3	4.6
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	2	1	0	0	－	0	4.7	4.5
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	1	1	1	0	－	0	4.0	4.6
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	1	2	0	0	－	0	4.3	4.6
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	0	1	2	0	－	0	3.3	4.5
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	0	3	0	0	－	0	4.0	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	1	1	1	0	－	0	4.0	4.4
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	1	2	0	0	－	0	4.3	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	0	2	1	0	－	0	3.7	4.4

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

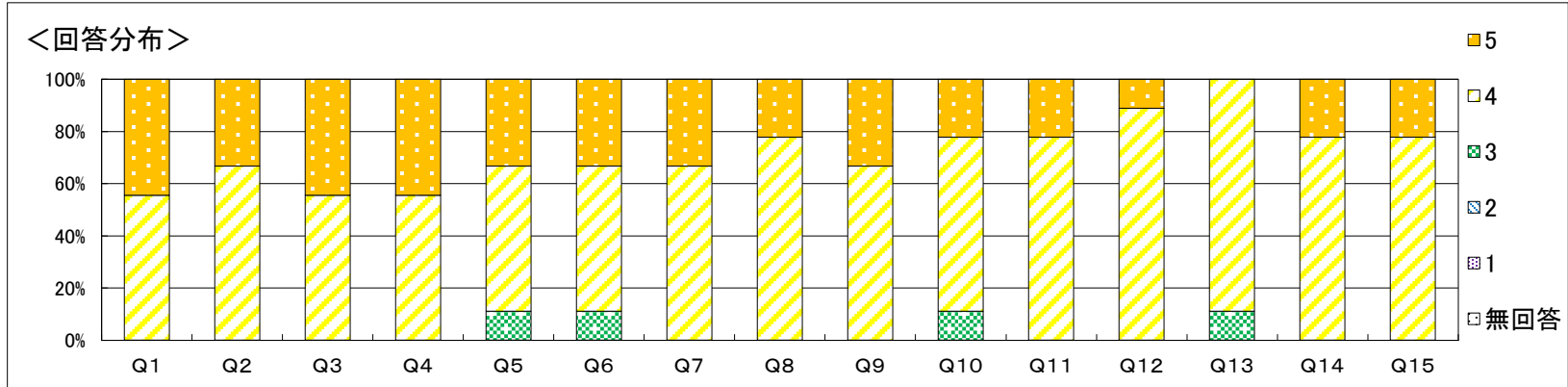
結果全体に対するコメント
アンケート結果が、3名であり、回収率を上げるようにしたいと思います。講義終了時に入力するように促すように工夫します。少数ではありますが、4.4以上であり、概ねシラバスにある授業目標は到達されていると思います。

科目名	(500005) 4000052F11200300 助産薬理学Ⅱ		
学科	助産研究科	履修者数	20人
学年	基礎2年	回収数	9人
必修・選択の別	必修	回収率	45.0%

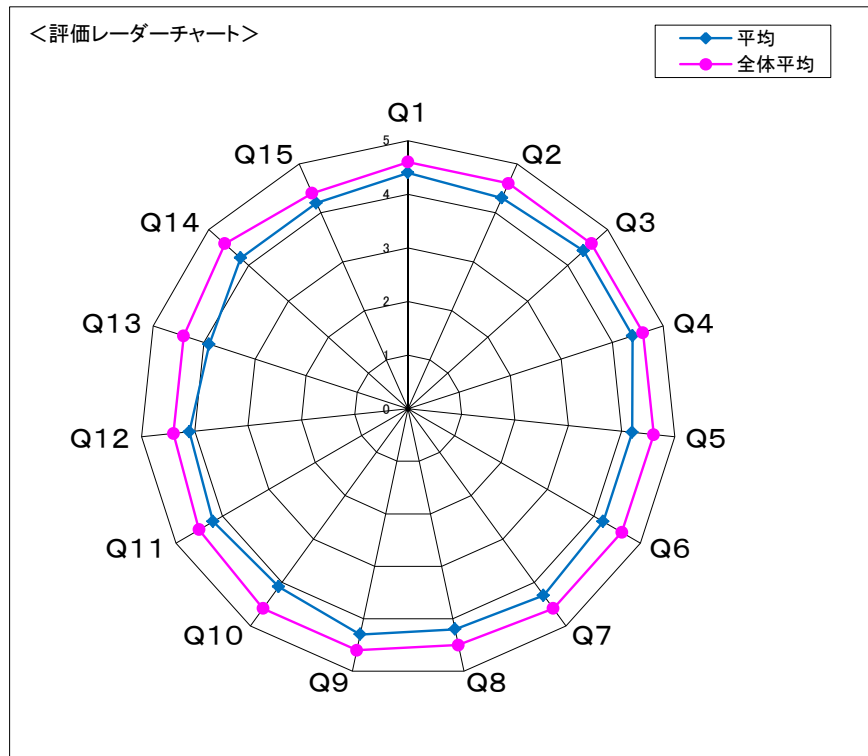
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	4	5	0	0	－	0	4.4	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	3	6	0	0	－	0	4.3	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	4	5	0	0	－	0	4.4	4.6
4. 授業の進行は適切だった	4	5	0	0	－	0	4.4	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	3	5	1	0	－	0	4.2	4.6
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	3	5	1	0	－	0	4.2	4.6
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	3	6	0	0	－	0	4.3	4.6
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	2	7	0	0	－	0	4.2	4.5
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	3	6	0	0	－	0	4.3	4.6
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	2	6	1	0	－	0	4.1	4.6
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	2	7	0	0	－	0	4.2	4.5
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	1	8	0	0	－	0	4.1	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	0	8	1	0	－	0	3.9	4.4
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	2	7	0	0	－	0	4.2	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	2	7	0	0	－	0	4.2	4.4

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

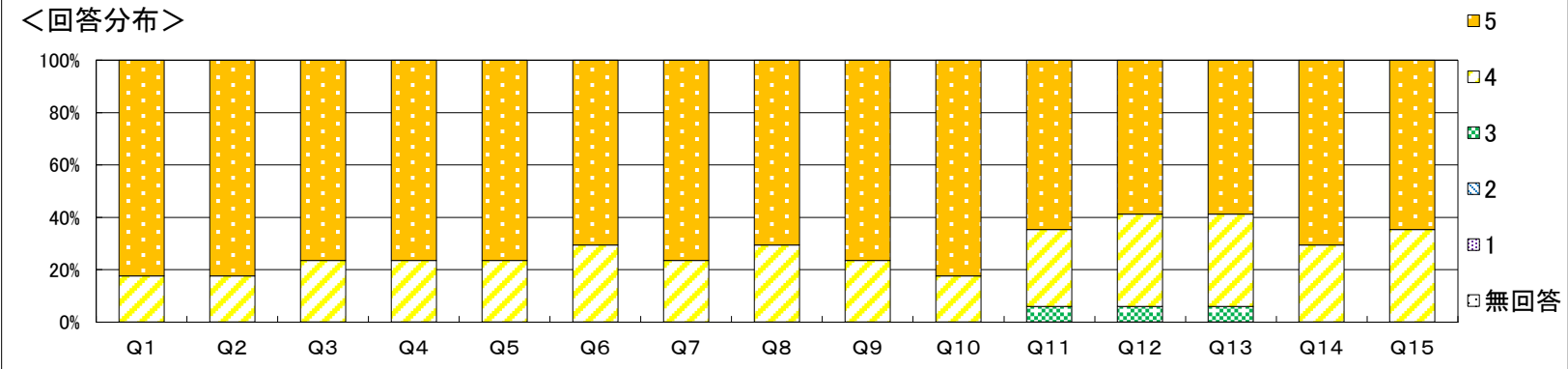
結果全体に対するコメント
本科目は、全体平均を全て下回っており、授業方法の検討が必要である。担当教員は、非常勤講師2名である。今後は、担当教員と連携し、学習目標を達成するための授業方法や内容の検討を行うこととしたい。評価3の項目では、授業方法や学習への積極性があることから、興味をもち授業を受けられる工夫を検討することも必要である。

科目名	(500006) 4000062F11200400 妊産褥婦乳幼児の栄養		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎1年	回収数	17人
必修・選択の別	必修	回収率	89.5%

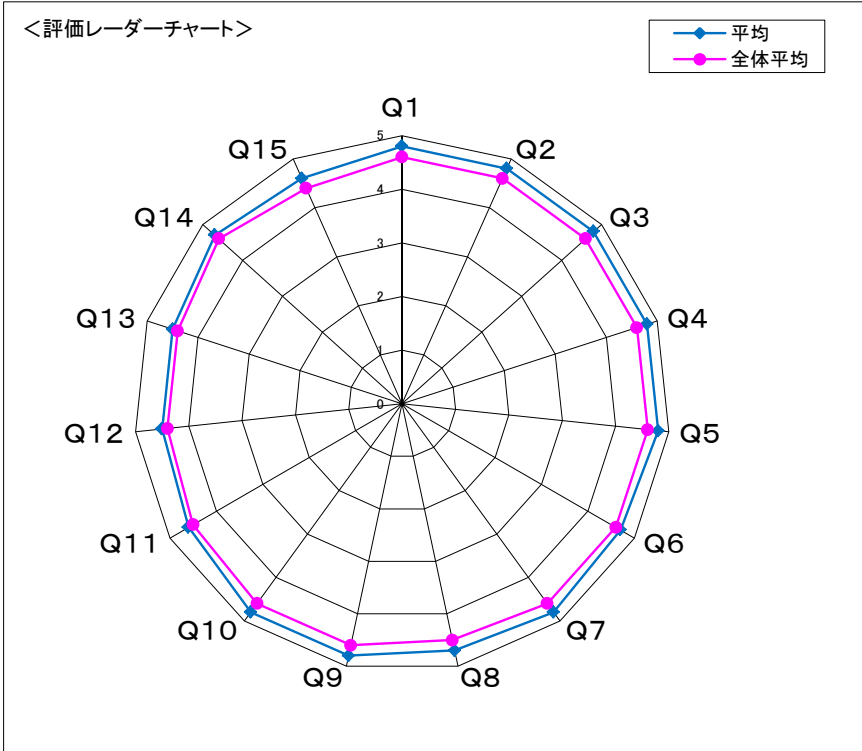
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	14	3	0	0	－	0	4.8	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	14	3	0	0	－	0	4.8	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	13	4	0	0	－	0	4.8	4.6
4. 授業の進行は適切だった	13	4	0	0	－	0	4.8	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	13	4	0	0	－	0	4.8	4.6
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	12	5	0	0	－	0	4.7	4.6
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	13	4	0	0	－	0	4.8	4.6
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	12	5	0	0	－	0	4.7	4.5
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	13	4	0	0	－	0	4.8	4.6
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	14	3	0	0	－	0	4.8	4.6
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	11	5	1	0	－	0	4.6	4.5
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	10	6	1	0	－	0	4.5	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	10	6	1	0	－	0	4.5	4.4
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	12	5	0	0	－	0	4.7	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	11	6	0	0	－	0	4.6	4.4

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

食事バランスガイドを用いて自らの食事を振り返る事や、食品成分表を用いての栄養素の計算など、実践に対する評価記載があった。
妊産褥婦に対しての食事指導について学修を深められたと考える。

結果全体に対するコメント

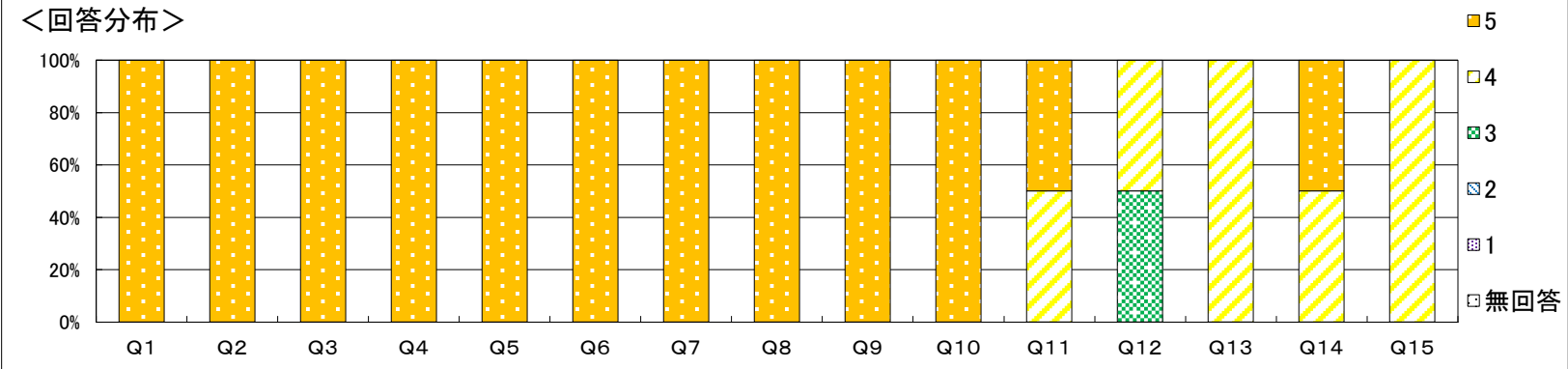
他項目と比較し、評価が低かった「事前・事後学習を行った」「指定図書を活用し、授業に参加した」について、事前・事後学習の提示方法や指定図書の説明等、検討改善していきたい。

科目名	(500007) 4000072F11200500 助産女性学		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎1年	回収数	2人
必修・選択の別	必修	回収率	10.5%

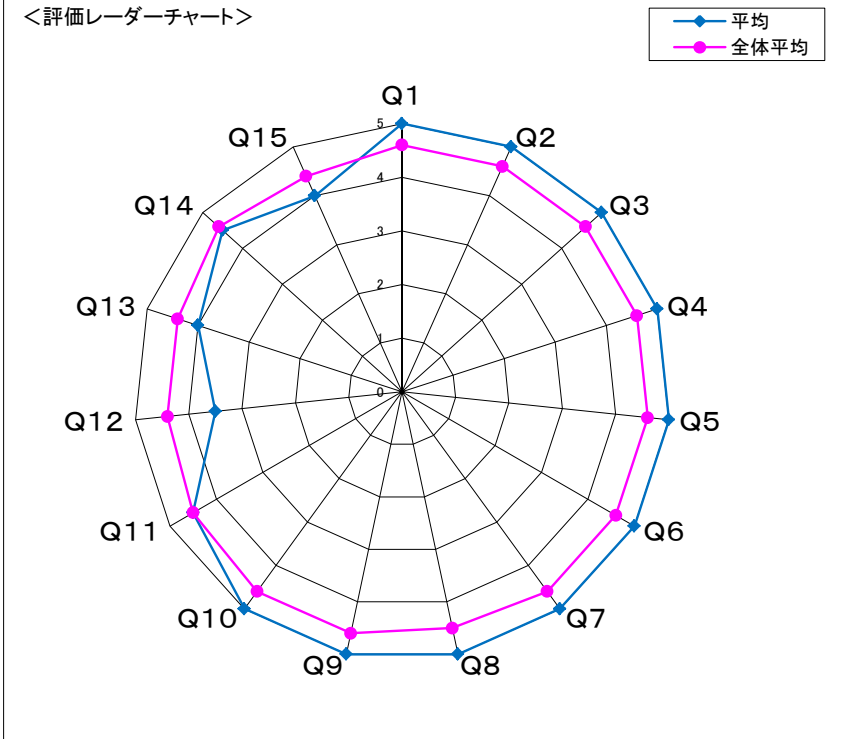
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	2	0	0	0	－	0	5.0	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	2	0	0	0	－	0	5.0	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	2	0	0	0	－	0	5.0	4.6
4. 授業の進行は適切だった	2	0	0	0	－	0	5.0	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	2	0	0	0	－	0	5.0	4.6
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	2	0	0	0	－	0	5.0	4.6
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	2	0	0	0	－	0	5.0	4.6
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	2	0	0	0	－	0	5.0	4.5
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	2	0	0	0	－	0	5.0	4.6
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	2	0	0	0	－	0	5.0	4.6
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	1	1	0	0	－	0	4.5	4.5
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	0	1	1	0	－	0	3.5	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	0	2	0	0	－	0	4.0	4.4
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	1	1	0	0	－	0	4.5	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	0	2	0	0	－	0	4.0	4.4

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

なし

結果全体に対するコメント

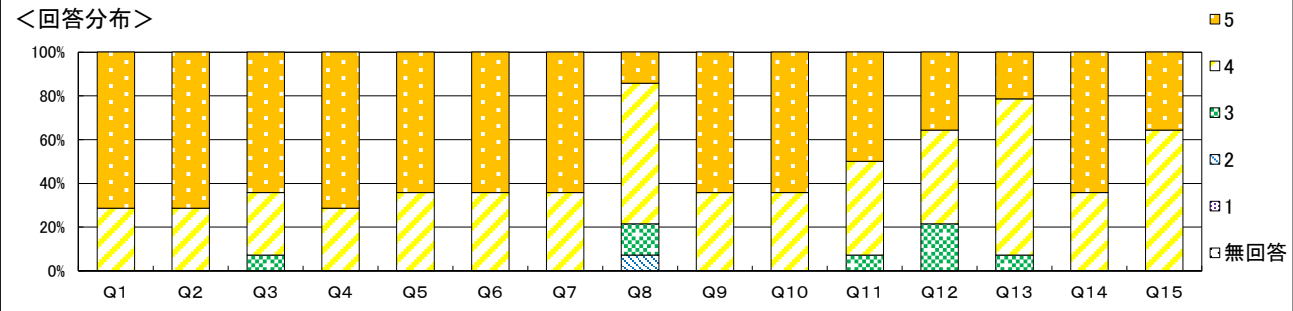
2名だけであるが、非常に高い評価をいただいている。内容が興味深く、グループワークなどを入れた効果的な授業構成となっていたと考える。学生の自己評価が低い、レポートなどは良かった。今後も新しい知見を入れながら、今年度同様に継続して行っていく。

科目名	(500020) 40000202F11200600 助産カウンセリング		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎1年	回収数	14人
必修・選択の別	必修	回収率	73.7%

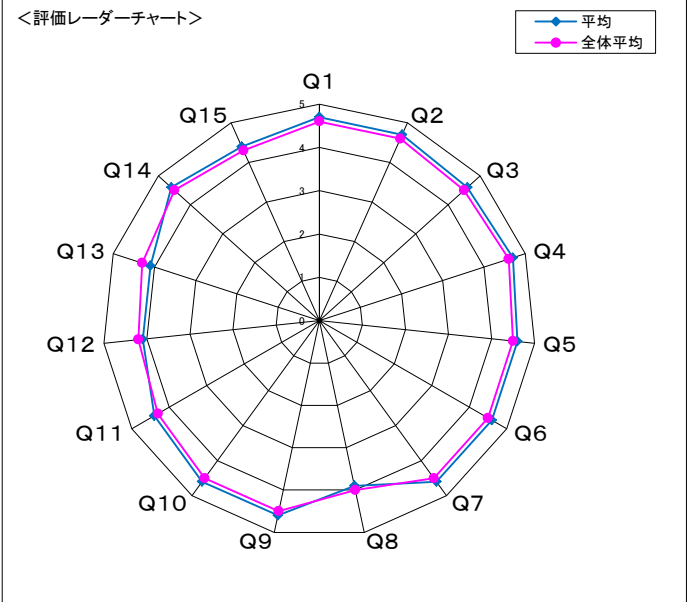
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	10	4	0	0	－	0	4.7	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	10	4	0	0	－	0	4.7	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	9	4	1	0	－	0	4.6	4.5
4. 授業の進行は適切だった	10	4	0	0	－	0	4.7	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	9	5	0	0	－	0	4.6	4.5
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	9	5	0	0	－	0	4.6	4.5
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	9	5	0	0	－	0	4.6	4.5
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	2	9	2	1	－	0	3.9	4.0
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	9	5	0	0	－	0	4.6	4.5
10. 教員は院生の質問・発言等適切に対応した	9	5	0	0	－	0	4.6	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	7	6	1	0	－	0	4.4	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	5	6	3	0	－	0	4.1	4.2
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	3	10	1	0	－	0	4.1	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	9	5	0	0	－	0	4.6	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	5	9	0	0	－	0	4.4	4.3

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

臨床での事例やグループワークやロールプレイを通して実践能力が高まったとの評価記載があった。実践の場面に活用できるよう学修を深められたと考える。

結果全体に対するコメント

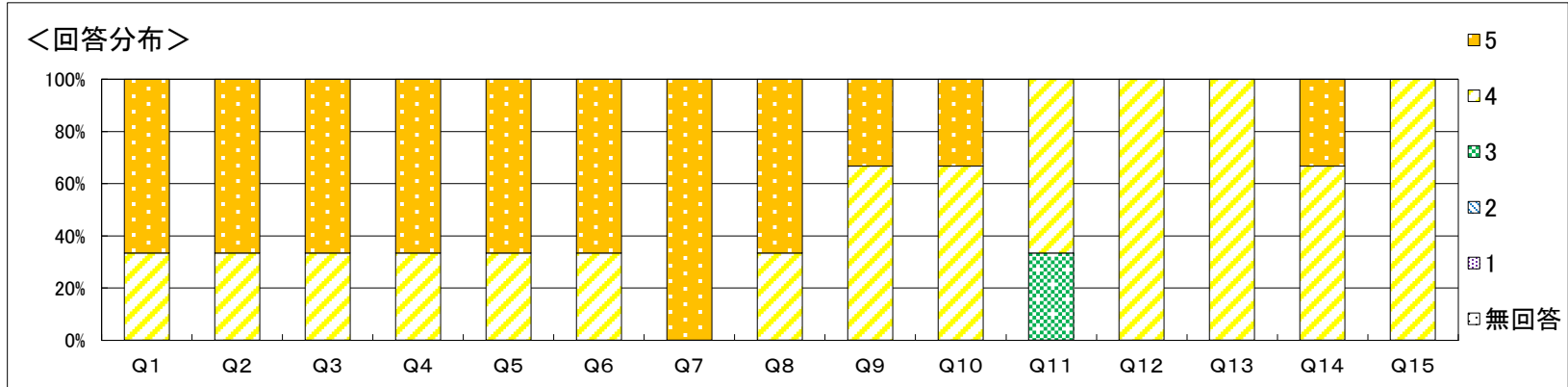
他項目と比較し評価が低かった「授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった」について、レポートの量や提示方法等、検討改善していきたい。

科目名	(500008) 4000082F11200700 健康教育論 I		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎1年	回収数	3人
必修・選択の別	必修	回収率	15.8%

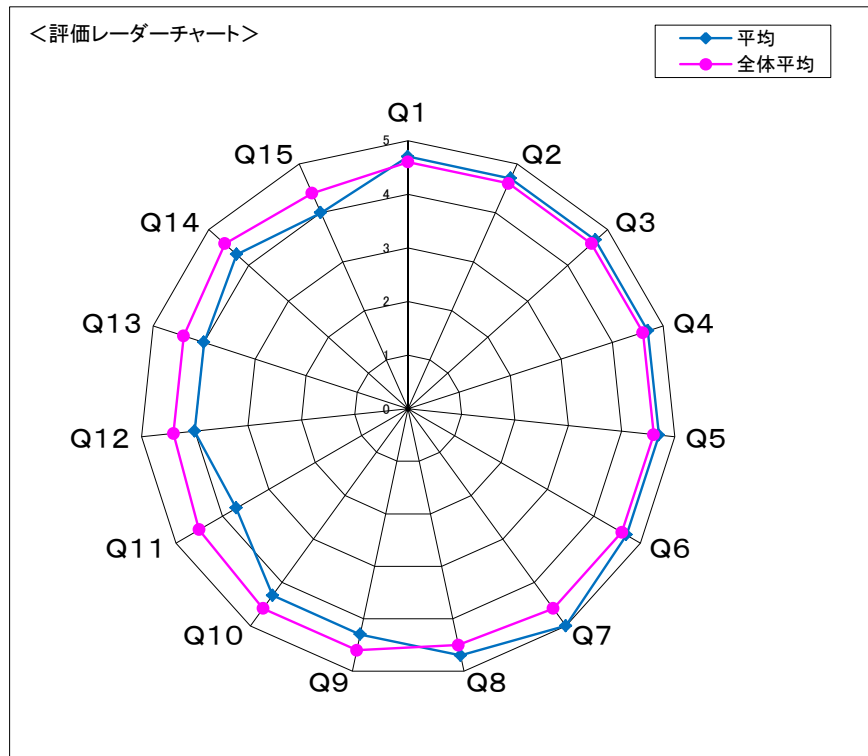
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	2	1	0	0	－	0	4.7	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	2	1	0	0	－	0	4.7	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	2	1	0	0	－	0	4.7	4.6
4. 授業の進行は適切だった	2	1	0	0	－	0	4.7	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	2	1	0	0	－	0	4.7	4.6
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	2	1	0	0	－	0	4.7	4.6
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	3	0	0	0	－	0	5.0	4.6
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	2	1	0	0	－	0	4.7	4.5
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	1	2	0	0	－	0	4.3	4.6
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	1	2	0	0	－	0	4.3	4.6
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	0	2	1	0	－	0	3.7	4.5
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	0	3	0	0	－	0	4.0	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	0	3	0	0	－	0	4.0	4.4
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	1	2	0	0	－	0	4.3	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	0	3	0	0	－	0	4.0	4.4

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント

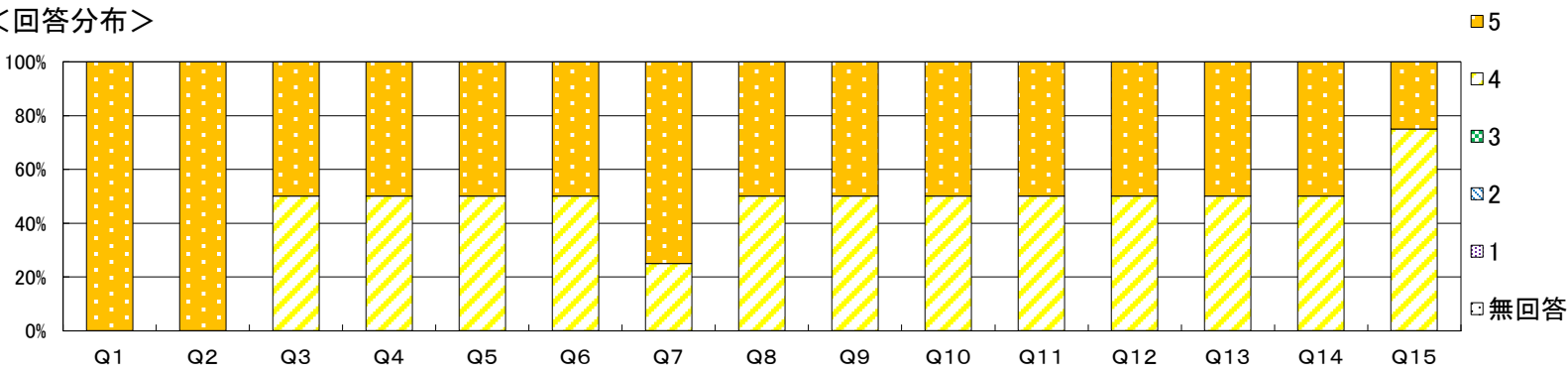
・授業への参加の促しが足りなかったように評価されているので、グループワークや個人的に質問するなど授業の工夫をしていきたい。

科目名	(500009) 4000092F11200800 健康教育論Ⅱ		
学科	助産研究科	履修者数	20人
学年	基礎2年	回収数	4人
必修・選択の別	必修	回収率	20.0%

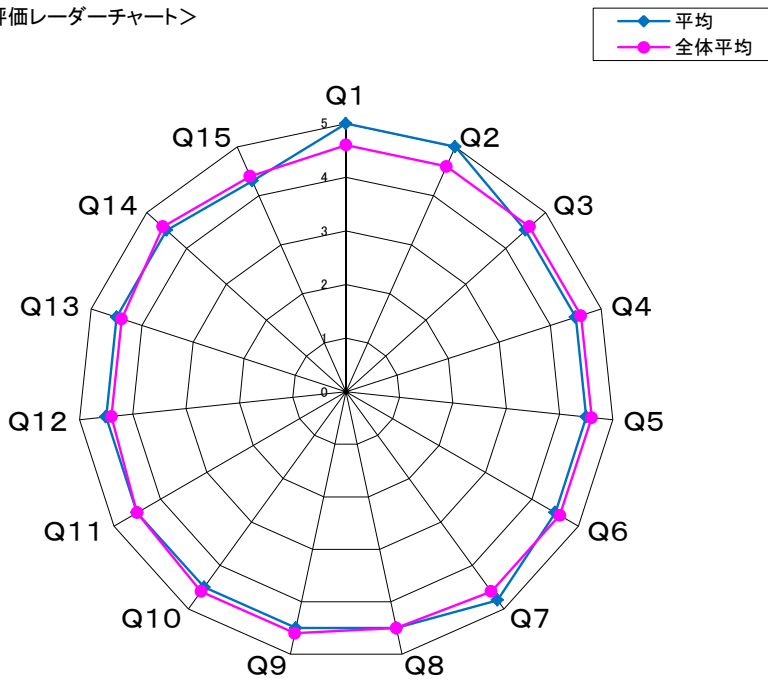
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	4	0	0	0	－	0	5.0	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	4	0	0	0	－	0	5.0	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	2	2	0	0	－	0	4.5	4.6
4. 授業の進行は適切だった	2	2	0	0	－	0	4.5	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	2	2	0	0	－	0	4.5	4.6
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	2	2	0	0	－	0	4.5	4.6
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	3	1	0	0	－	0	4.8	4.6
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	2	2	0	0	－	0	4.5	4.5
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	2	2	0	0	－	0	4.5	4.6
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	2	2	0	0	－	0	4.5	4.6
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	2	2	0	0	－	0	4.5	4.5
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	2	2	0	0	－	0	4.5	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	2	2	0	0	－	0	4.5	4.4
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	2	2	0	0	－	0	4.5	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	1	3	0	0	－	0	4.3	4.4

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

・2組に分けて両親学級を行い、当日の様子は撮影し、Google Classroomにアップしている。「学級の様子が見れると良かった」というコメントがあったが、それにはすでに対応している。

・2組で協力できなかったことについては、残念に思う。健康教育論の中では、学級を実施したなら次にもっと良い学級になるようにPDCAサイクルが回っていくことが必要となる。具体的に、「実践して改善点を次のチームに伝える」「装飾は、使えるものは使ってよい」など、説明を何度実施していこうと思う。

結果全体に対するコメント

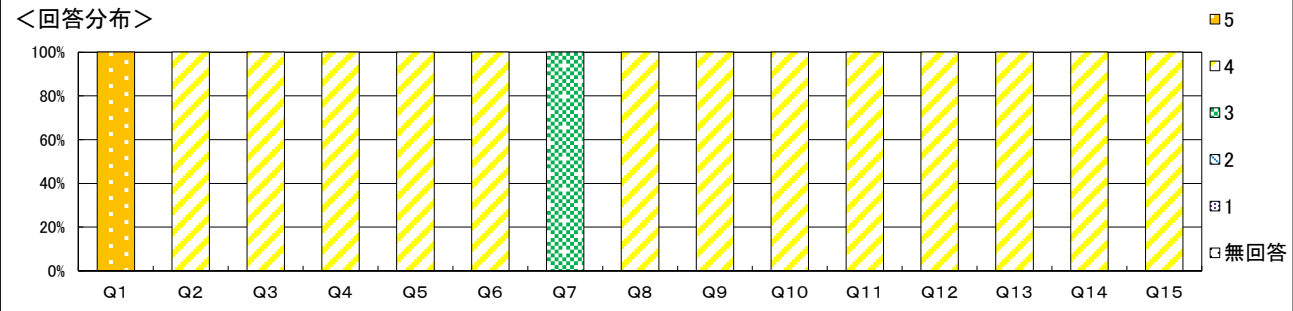
・実際に参加者がいらっしゃる事で、自分たちで試行錯誤して実践したことに、参加者が喜んでくださり、やりがいを感じられたと思う。他の演習もある中で、いつもチーム全員が集まれる環境ではなく、それで何かを作り上げることは、病院で働く上でも勤務が2交替3交替制であることで、全員がそろわないうえでの環境に似ているためチームでの自分の役割を知る機会となったと思われる。

科目名	(500021) 40000212F11200900 助産研究法		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎1年	回収数	1人
必修・選択の別	必修	回収率	5.3%

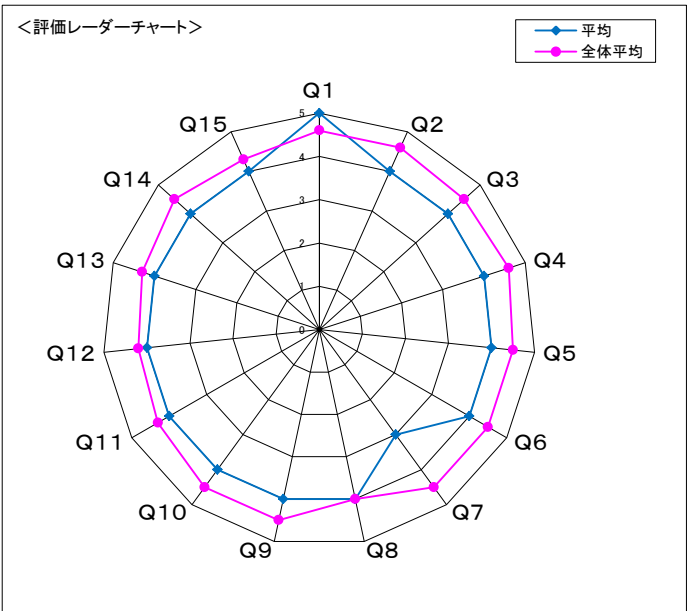
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	1	0	0	0	－	0	5.0	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
4. 授業の進行は適切だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	0	0	1	0	－	0	3.0	4.5
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.0
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
10. 教員は院生の質問・発言等適切に対応した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.2
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	0	1	0	0	－	0	4.0	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.3

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント

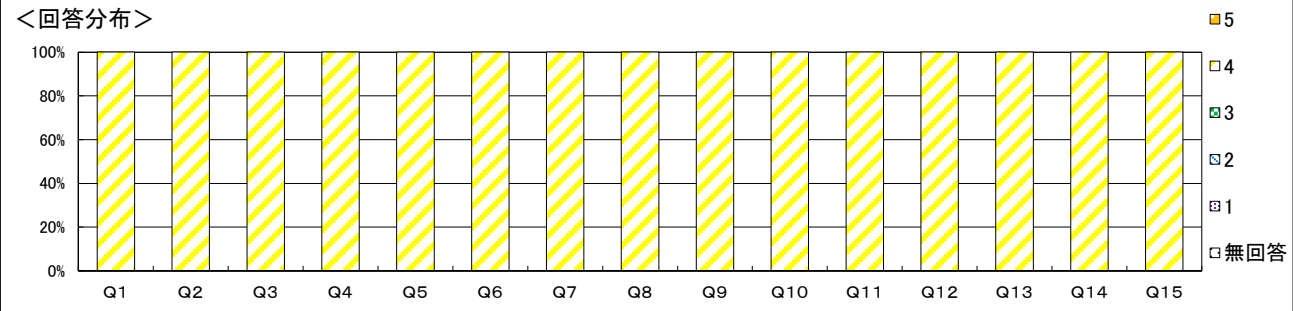
回答数1名、ということで、アンケート回答の呼びかけを強化する必要があると思いました。回答いただいた学生からは、概ねよい評価をいただいたと思うのですが、授業内容をもっとわかりやすく伝える工夫が必要と理解しました。

科目名	(500022) 40000222F11300100 助産管理論 I		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎1年	回収数	1人
必修・選択の別	必修	回収率	5.3%

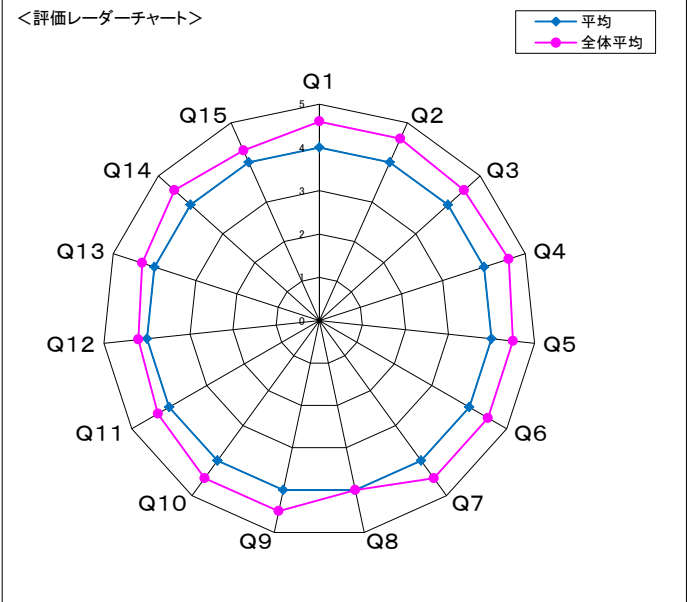
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
4. 授業の進行は適切だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.0
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
10. 教員は院生の質問・発言等適切に対応した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.2
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	0	1	0	0	－	0	4.0	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.3

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント

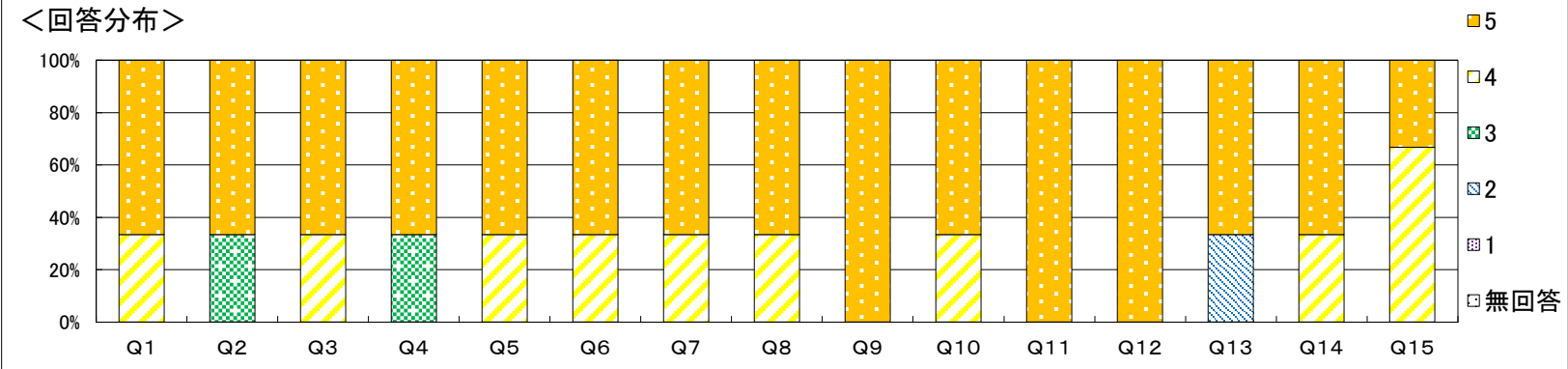
授業の成果としては、全体的に学習理解がされたと考える。回答の一部にレポートや課題について検討を要することが想定される。この課題提示者は1名のみの教員であり、課題の過多か要求度の高さに評価を下げる点があったか、オムニバス教員で再考して次年度に活用する。回答率の悪さは評価の一部として改善したい。

科目名	(500010) 4000102F11300200 助産管理論Ⅱ		
学科	助産研究科	履修者数	20人
学年	基礎2年	回収数	3人
必修・選択の別	必修	回収率	15.0%

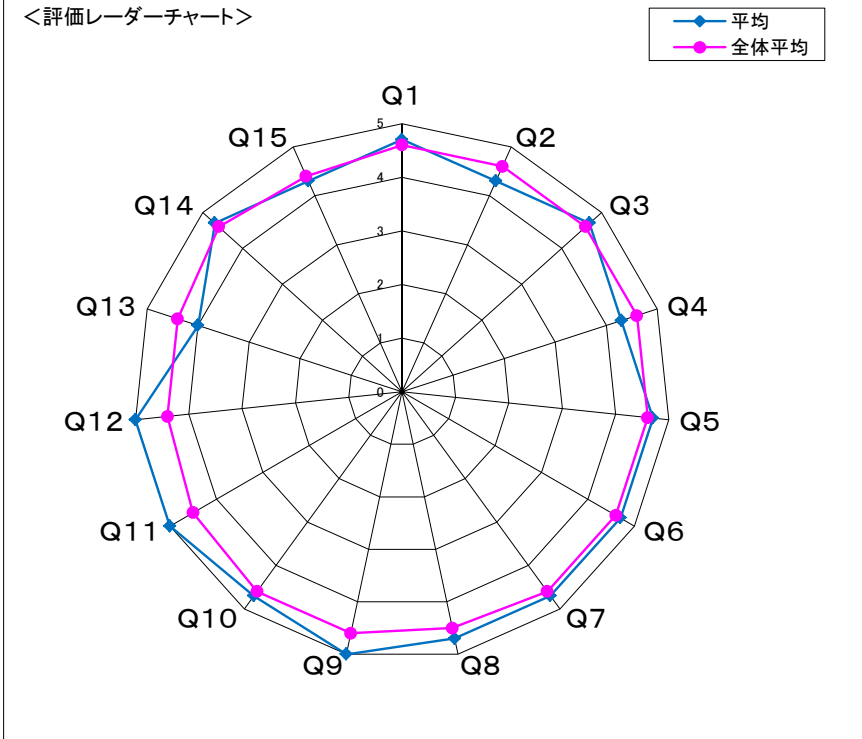
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	2	1	0	0	－	0	4.7	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	2	0	1	0	－	0	4.3	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	2	1	0	0	－	0	4.7	4.6
4. 授業の進行は適切だった	2	0	1	0	－	0	4.3	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	2	1	0	0	－	0	4.7	4.6
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	2	1	0	0	－	0	4.7	4.6
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	2	1	0	0	－	0	4.7	4.6
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	2	1	0	0	－	0	4.7	4.5
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	3	0	0	0	－	0	5.0	4.6
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	2	1	0	0	－	0	4.7	4.6
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	3	0	0	0	－	0	5.0	4.5
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	3	0	0	0	－	0	5.0	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	2	0	0	1	－	0	4.0	4.4
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	2	1	0	0	－	0	4.7	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	1	2	0	0	－	0	4.3	4.4

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

13・事前事後学習を行ったの箇所で2の回答があったので、さらに積極的に自己学習の機会を促していきたい。2. 4. の項目でへいきん4. 3と低めになっているため、授業進行・体系的授業構成に関しては、講義内容の見直しを図る。

結果全体に対するコメント

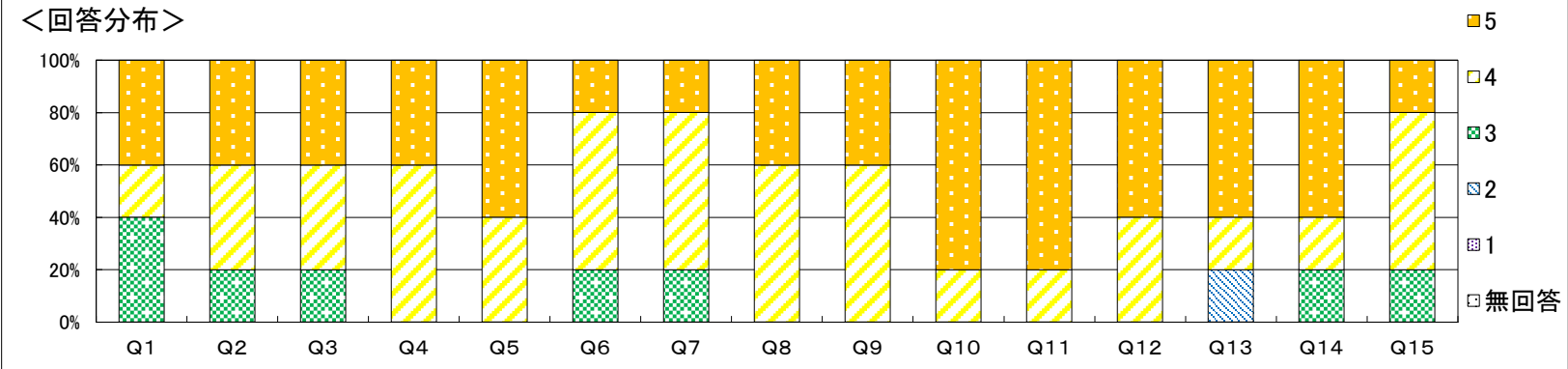
授業評価としては、概ね高評価と言えるが、更に満足度の高い授業になるように、PPn愛用など見直し、充実を図りたい。学生たちの意見や、発表の機会を増やしていきたい。

科目名	(500011) 4000112F11300300 助産師教育論		
学科	助産研究科	履修者数	20人
学年	基礎2年	回収数	5人
必修・選択の別	必修	回収率	25.0%

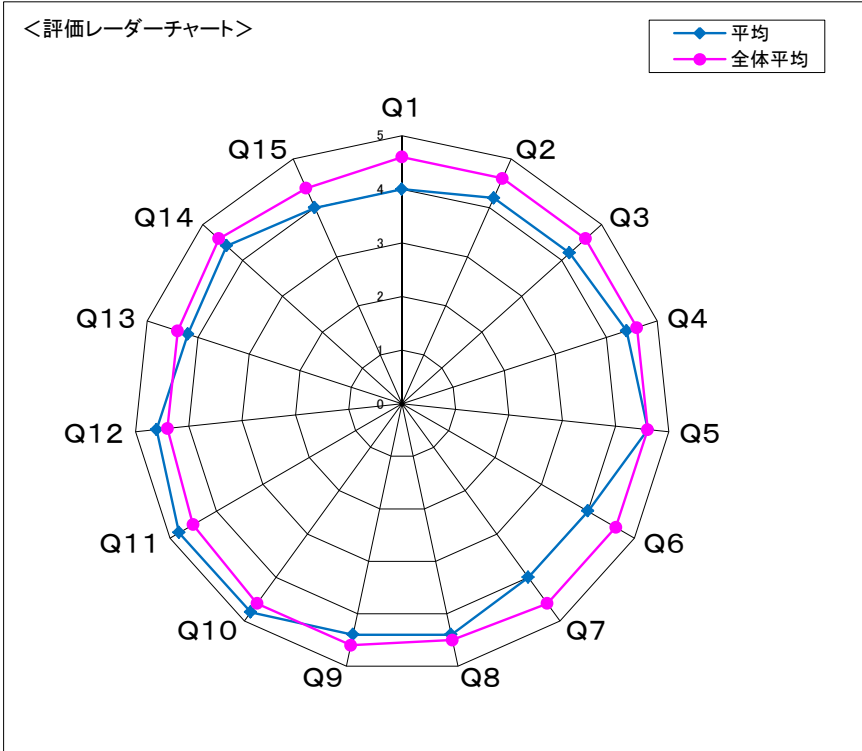
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	2	1	2	0	－	0	4.0	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	2	2	1	0	－	0	4.2	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	2	2	1	0	－	0	4.2	4.6
4. 授業の進行は適切だった	2	3	0	0	－	0	4.4	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	3	2	0	0	－	0	4.6	4.6
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	1	3	1	0	－	0	4.0	4.6
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	1	3	1	0	－	0	4.0	4.6
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	2	3	0	0	－	0	4.4	4.5
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	2	3	0	0	－	0	4.4	4.6
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	4	1	0	0	－	0	4.8	4.6
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	4	1	0	0	－	0	4.8	4.5
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	3	2	0	0	－	0	4.6	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	3	1	0	1	－	0	4.2	4.4
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	3	1	1	0	－	0	4.4	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	1	3	1	0	－	0	4.0	4.4

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

有意義なグループワークができてよかったです。専門分野に特化しない大学全体としての教育カリキュラムに関する内容なので、助産師基礎教育分野で学ぶ内容としては、理解が難しい部分があったのだらうと思いました。いただいたコメントの内容を次年度以降の改善に活かしたいと思います。

結果全体に対するコメント

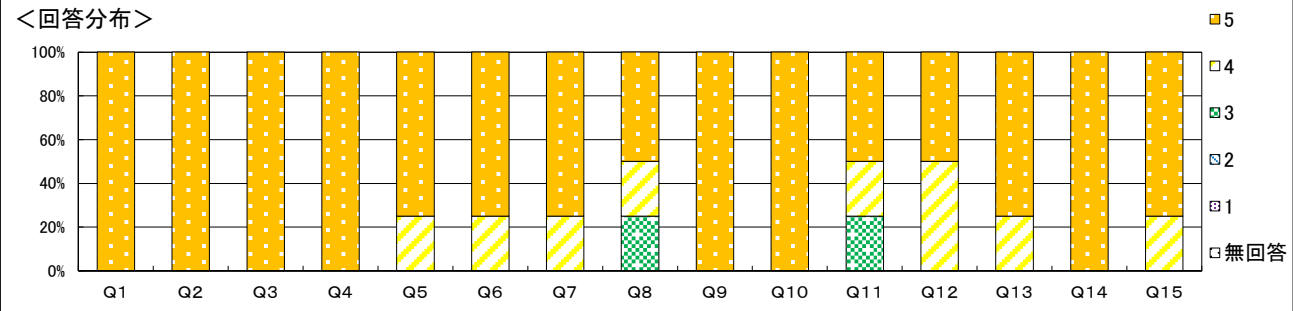
グループワークには皆積極的に取り組み、成果も示されたと思います。しかし、この科目の設置目的、意義をもっと明確に示す必要があったと思います。次年度に向けて検討します。

科目名	(500023) 40000232F11300500 母子保健行政・財政論		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎1年	回収数	4人
必修・選択の別	必修	回収率	21.1%

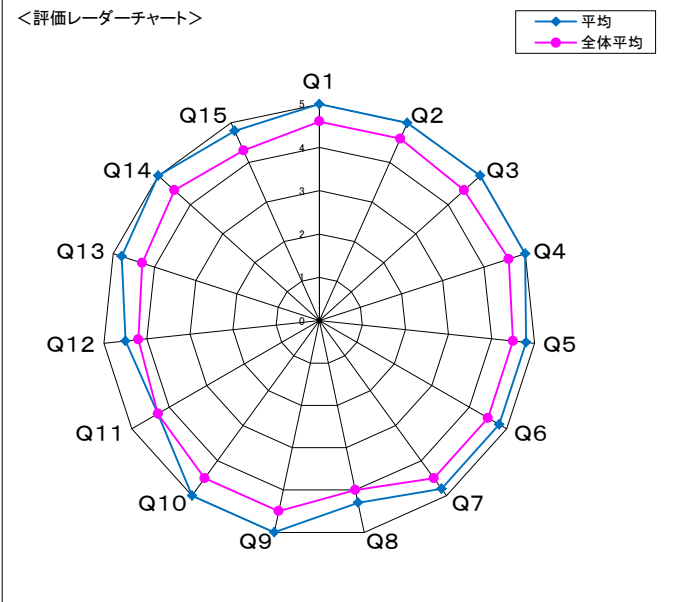
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	4	0	0	0	－	0	5.0	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	4	0	0	0	－	0	5.0	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	4	0	0	0	－	0	5.0	4.5
4. 授業の進行は適切だった	4	0	0	0	－	0	5.0	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	3	1	0	0	－	0	4.8	4.5
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	3	1	0	0	－	0	4.8	4.5
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	3	1	0	0	－	0	4.8	4.5
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	2	1	1	0	－	0	4.3	4.0
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	4	0	0	0	－	0	5.0	4.5
10. 教員は院生の質問・発言等適切に対応した	4	0	0	0	－	0	5.0	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	2	1	1	0	－	0	4.3	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	2	2	0	0	－	0	4.5	4.2
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	3	1	0	0	－	0	4.8	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	4	0	0	0	－	0	5.0	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	3	1	0	0	－	0	4.8	4.3

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

授業後の感想等では、現在の母子保健の課題を考えたことや、まとめの発表から政策に参加する道筋ができたと評価できる。今後も、母子に起きている課題を取り上げながら助産師として何をどう介入できるか、政策にどうかしていか具体的を考えるよう教授していきたい。

結果全体に対するコメント

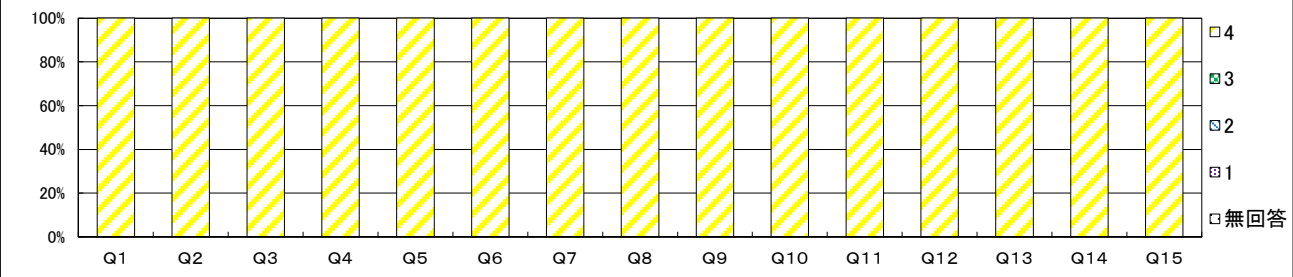
概ね高評価であるが、積極的な授業への参加と他の科目とレポート課題の期限を調整する必要があると考えます。積極的に授業を受ける気持ちになるようにさまざまな工夫を考えていきたいと思います。

科目名	(500024) 40000242F11300600 母子保健活動論(疫学・統計を含む)		
学科	助産研究科	履修者数	20人
学年	基礎2年	回収数	1人
必修・選択の別	必修	回収率	5.0%

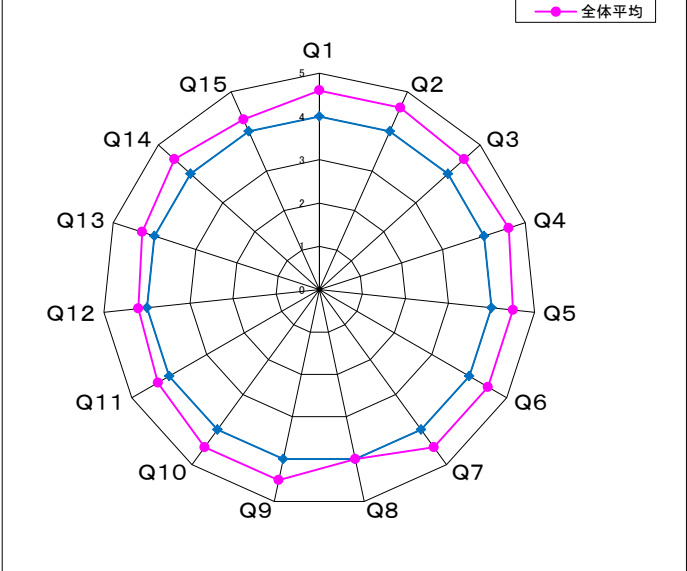
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
4. 授業の進行は適切だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.0
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
10. 教員は院生の質問・発言等適切に対応した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.2
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	0	1	0	0	－	0	4.0	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.3

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

授業後アンケートでは、研究が進んでいく前の時期に授業を受けたいという希望があった。このため、今後は、2年次の早い時期に授業を組んでいくようにしたい。授業後のアンケートでは、新たな知識の獲得があり、積極的に授業を受けていた印象があった。このため、アンケートに記入できるように工夫と配慮をしていきたい。

結果全体に対するコメント

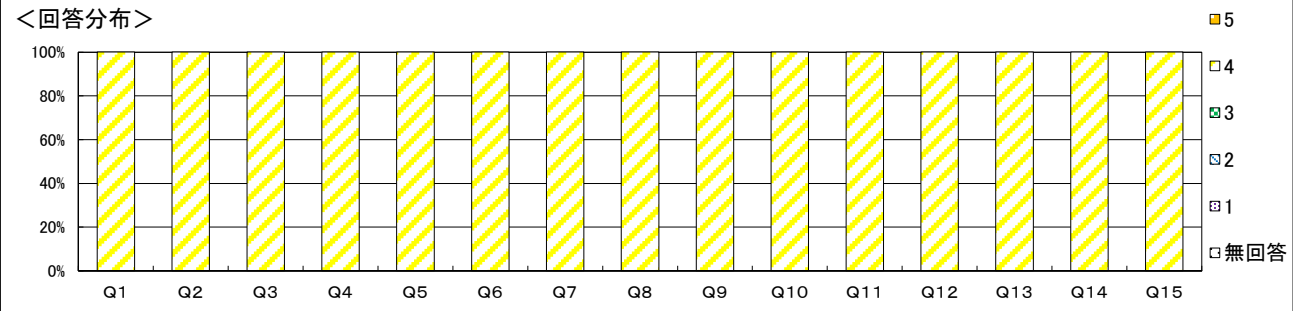
最終講義は、時間内にアンケート記入の時間を取ったが、配信の授業だったため、記入に至ることが難しかった。今後は、授業方法を工夫し、学生の反応をみながら興味をもてるよう実践につながる内容にしていきたいと思います。課題は、負担を考え他の科目と調整をしていきたいと思っています。

科目名	(500025) 40000252F12100100 マタニティサイクル助産ケア I		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎1年	回収数	1人
必修・選択の別	必修	回収率	5.3%

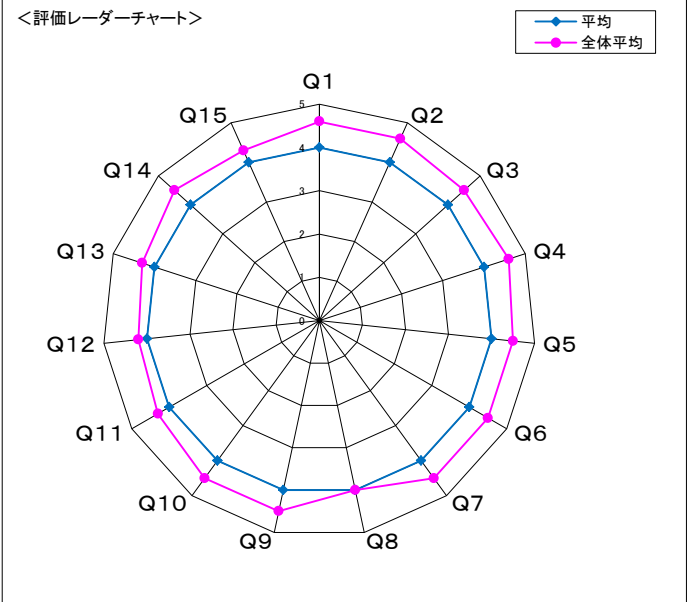
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
4. 授業の進行は適切だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.0
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
10. 教員は院生の質問・発言等適切に対応した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.2
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	0	1	0	0	－	0	4.0	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.3

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

学生が取り組んだ課題に対して、丁寧な補足説明、重要ポイントの説明などをする必要がある。

結果全体に対するコメント

アンケートの声掛けを忘れたため、1／18名(5%)の回答であり、何とも言えない。

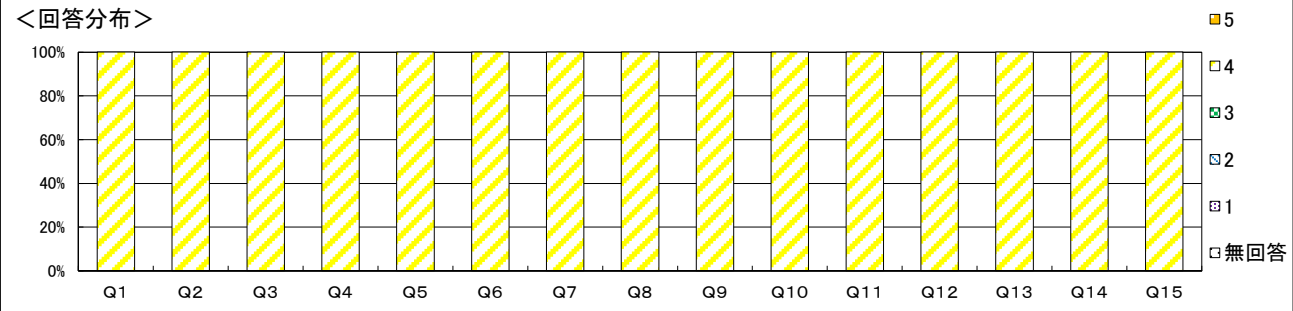
来年度は、担当者が変わるため、より良い授業となるのではないかな。

科目名	(500026) 40000262F12100200 マタニティサイクル助産ケアⅡ		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎1年	回収数	1人
必修・選択の別	必修	回収率	5.3%

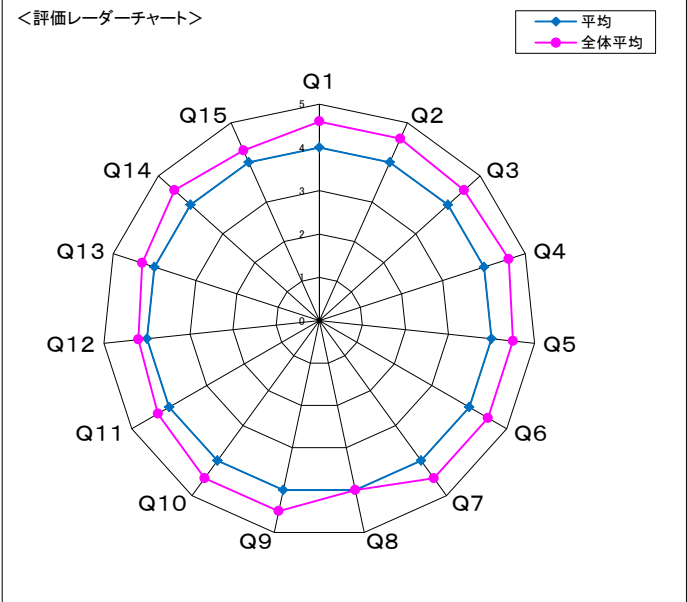
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
4. 授業の進行は適切だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	0	1	0	0	－	0	4.0	4.0
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
10. 教員は院生の質問・発言等適切に対応した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.2
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	0	1	0	0	－	0	4.0	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.3

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント

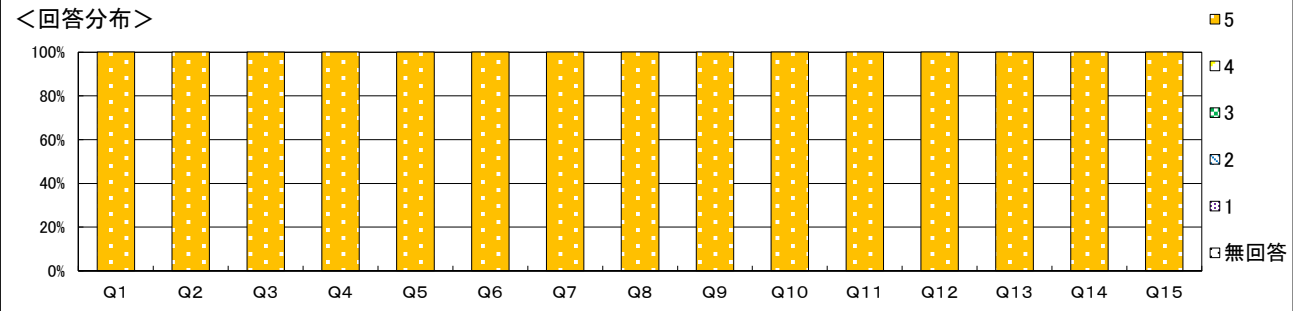
回答者が1名であり、回答率を上げることが必要です。この結果が、講義の評価だと言えない。講義の最終日にアナウンスをして、回答を促すことが必須だと思います。

科目名	(500027) 40000272F12100300 マタニティサイクル助産ケアⅢ		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎1年	回収数	1人
必修・選択の別	必修	回収率	5.3%

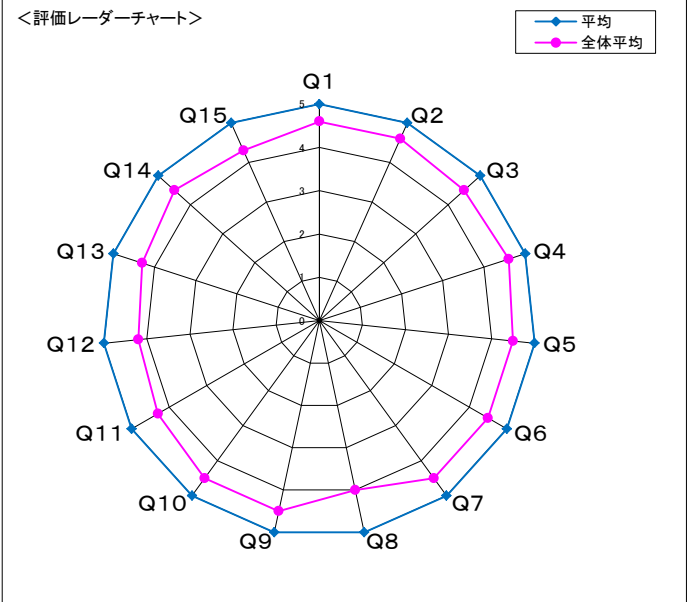
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	1	0	0	0	－	0	5.0	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	1	0	0	0	－	0	5.0	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	1	0	0	0	－	0	5.0	4.5
4. 授業の進行は適切だった	1	0	0	0	－	0	5.0	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	1	0	0	0	－	0	5.0	4.5
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	1	0	0	0	－	0	5.0	4.5
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	1	0	0	0	－	0	5.0	4.5
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	1	0	0	0	－	0	5.0	4.0
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	1	0	0	0	－	0	5.0	4.5
10. 教員は院生の質問・発言等適切に対応した	1	0	0	0	－	0	5.0	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	1	0	0	0	－	0	5.0	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	1	0	0	0	－	0	5.0	4.2
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	1	0	0	0	－	0	5.0	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	1	0	0	0	－	0	5.0	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	1	0	0	0	－	0	5.0	4.3

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント

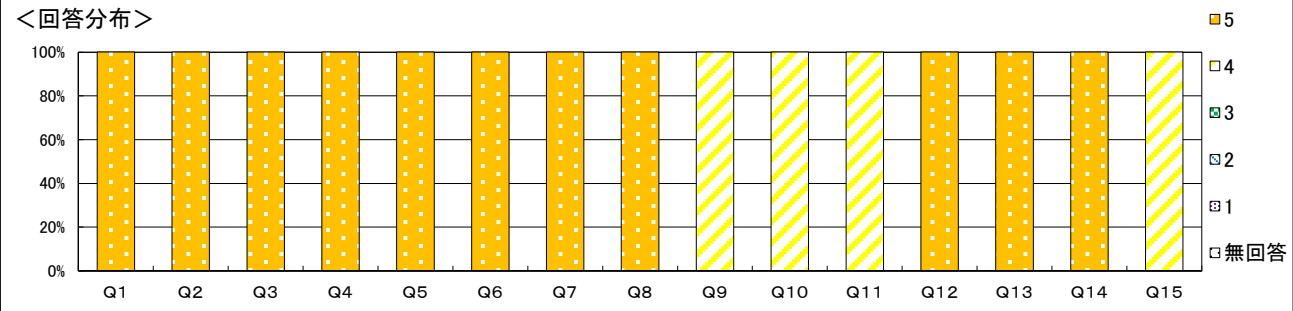
・グループワークや演習において、早い段階で予定を提示しているため、自己学習の予定も立てやすかったと予測する。グループワーク中心の授業の組み立てを行った。

科目名	(500028) 40000282F12100400 ハイリスク助産学 I		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎1年	回収数	1人
必修・選択の別	必修	回収率	5.3%

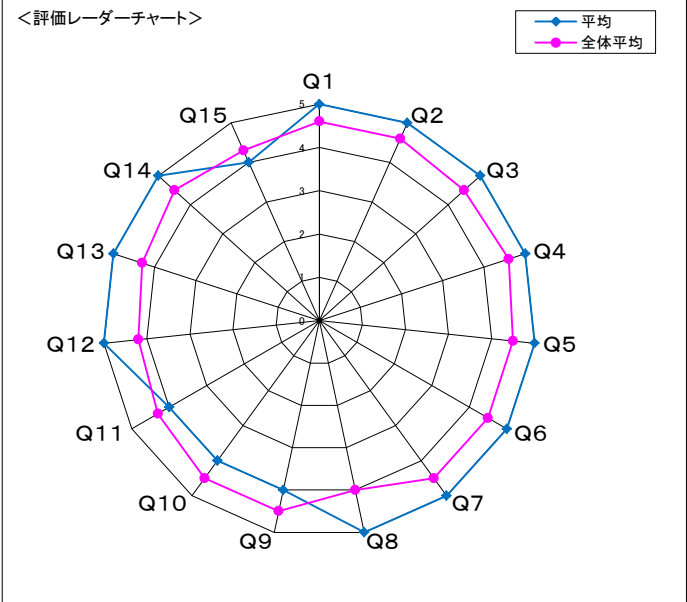
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	1	0	0	0	－	0	5.0	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	1	0	0	0	－	0	5.0	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	1	0	0	0	－	0	5.0	4.5
4. 授業の進行は適切だった	1	0	0	0	－	0	5.0	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	1	0	0	0	－	0	5.0	4.5
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	1	0	0	0	－	0	5.0	4.5
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	1	0	0	0	－	0	5.0	4.5
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	1	0	0	0	－	0	5.0	4.0
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	0	1	0	0	－	0	4.0	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	1	0	0	0	－	0	5.0	4.2
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	1	0	0	0	－	0	5.0	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	1	0	0	0	－	0	5.0	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	0	1	0	0	－	0	4.0	4.3

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント

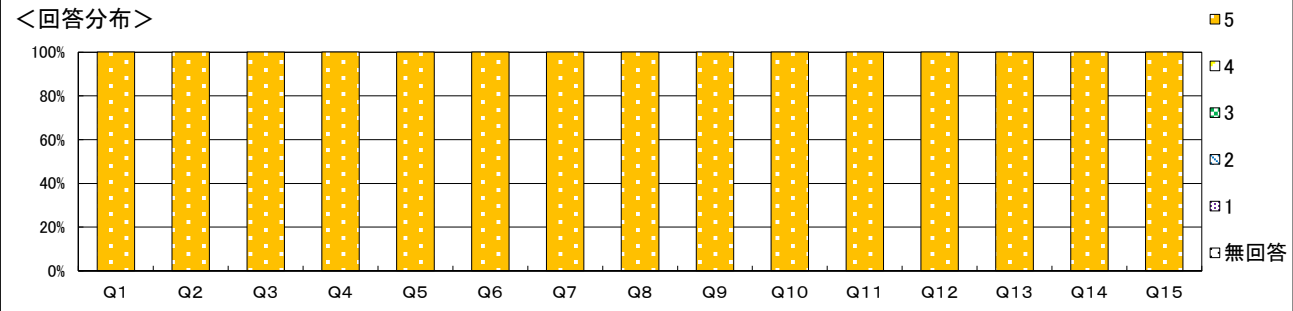
回答者が1名であり、回答率を上げることが必要です。この結果が、講義の評価だと言えない。講義の最終日にアナウンスをして、回答を促すことが必須だと思います。

科目名	(500029) 40000292F12100500 ハイリスク助産学Ⅱ		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎1年	回収数	1人
必修・選択の別	必修	回収率	5.3%

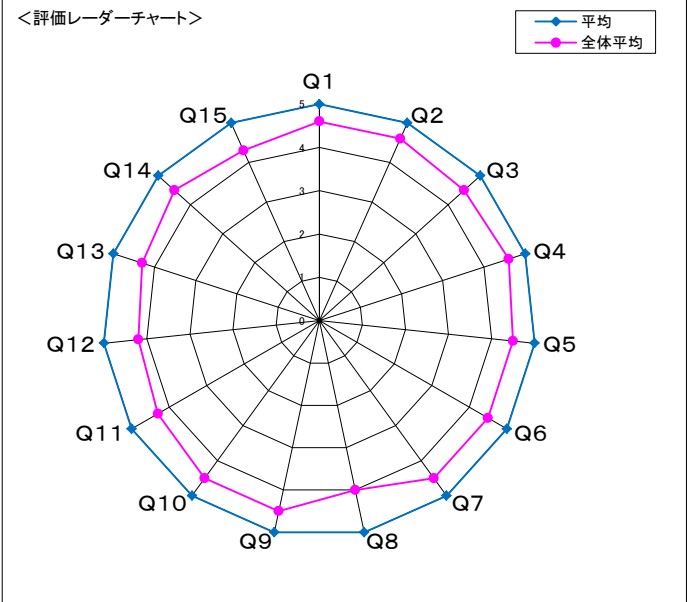
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	1	0	0	0	－	0	5.0	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	1	0	0	0	－	0	5.0	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	1	0	0	0	－	0	5.0	4.5
4. 授業の進行は適切だった	1	0	0	0	－	0	5.0	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	1	0	0	0	－	0	5.0	4.5
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	1	0	0	0	－	0	5.0	4.5
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	1	0	0	0	－	0	5.0	4.5
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	1	0	0	0	－	0	5.0	4.0
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	1	0	0	0	－	0	5.0	4.5
10. 教員は院生の質問・発言等適切に対応した	1	0	0	0	－	0	5.0	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	1	0	0	0	－	0	5.0	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	1	0	0	0	－	0	5.0	4.2
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	1	0	0	0	－	0	5.0	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	1	0	0	0	－	0	5.0	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	1	0	0	0	－	0	5.0	4.3

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント

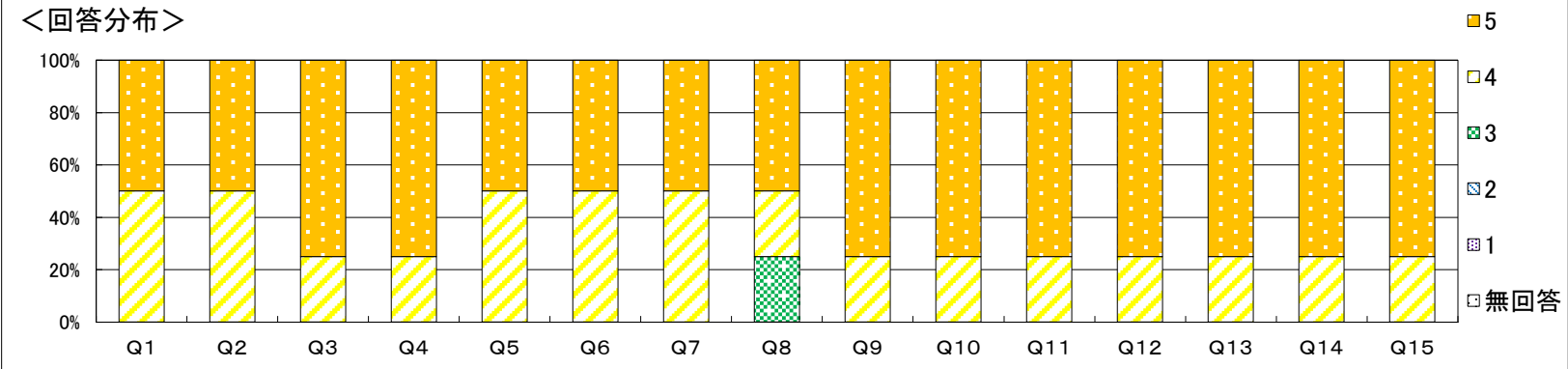
講義には、天使病院NICU医師や助産師に来ていただき、臨場感あふれる授業展開であったことが、興味を持って授業に集中できたのではないと思われる。

科目名	(500013) 4000132F12100600 ハイリスク助産演習		
学科	助産研究科	履修者数	20人
学年	基礎2年	回収数	4人
必修・選択の別	必修	回収率	20.0%

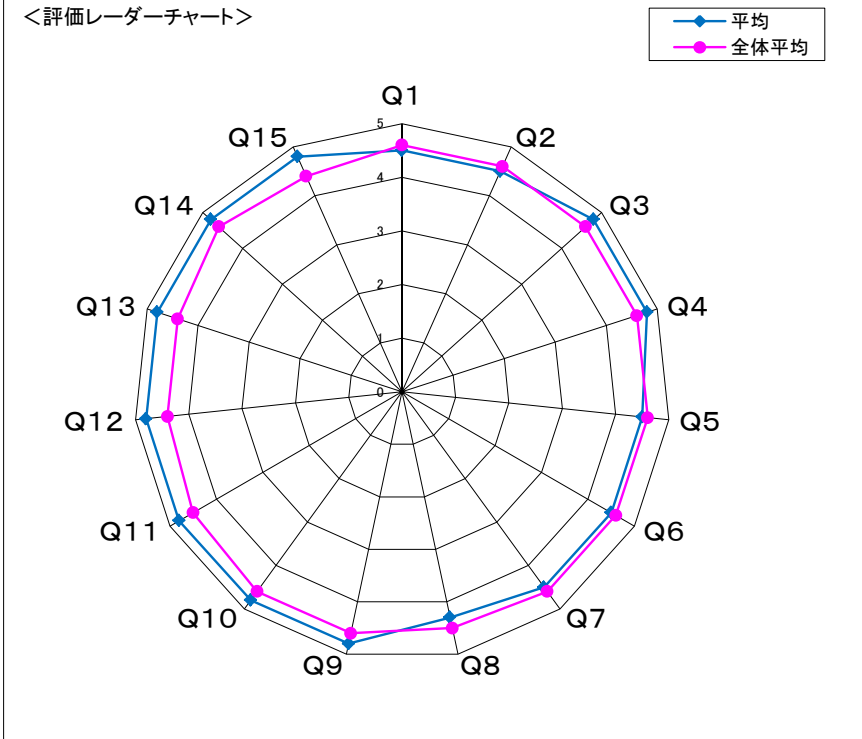
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	2	2	0	0	－	0	4.5	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	2	2	0	0	－	0	4.5	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	3	1	0	0	－	0	4.8	4.6
4. 授業の進行は適切だった	3	1	0	0	－	0	4.8	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	2	2	0	0	－	0	4.5	4.6
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	2	2	0	0	－	0	4.5	4.6
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	2	2	0	0	－	0	4.5	4.6
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	2	1	1	0	－	0	4.3	4.5
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	3	1	0	0	－	0	4.8	4.6
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	3	1	0	0	－	0	4.8	4.6
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	3	1	0	0	－	0	4.8	4.5
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	3	1	0	0	－	0	4.8	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	3	1	0	0	－	0	4.8	4.4
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	3	1	0	0	－	0	4.8	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	3	1	0	0	－	0	4.8	4.4

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

ハイリスク演習の事前課題は演習で役立ったが、項目の量が多く、理解をする時間がないという意見について、課題の量をについて集約して提示します。

演習時の記録の提出について、負担なく行なえているという意見について、継続していきます。

演習でのテーマカンファレンスが難しいので、目標に沿った学びの共有が取り組みやすいという意見について、演習の状況によって検討していきます。

結果全体に対するコメント

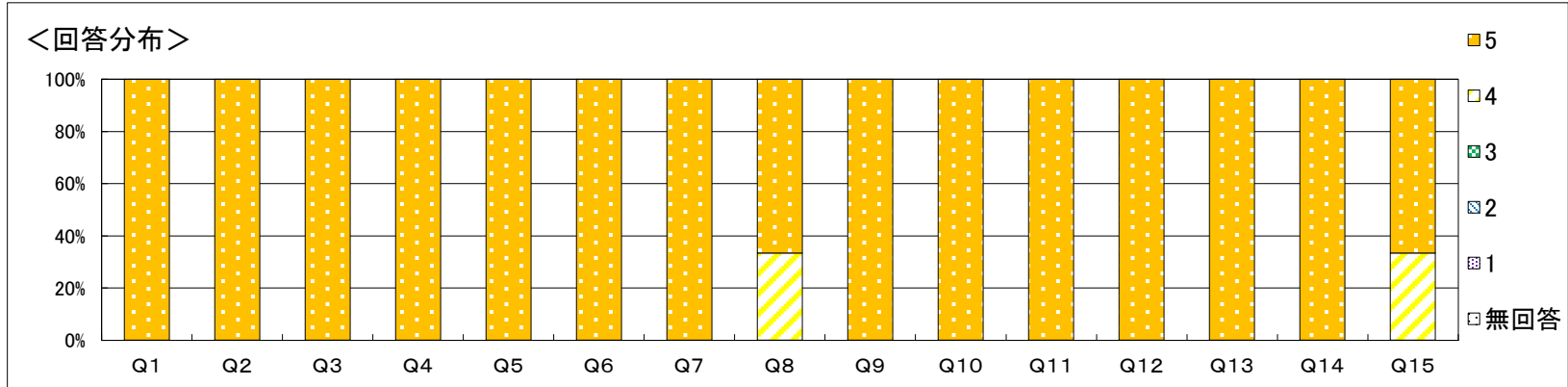
アンケートの回収率が、3名であり、回収率を上げていきたいと思います。演習の終了時に、アンケートの入力を促すようにします。少数意見ではありますが、4.4以上であり、概ねシラバスの目標は到達できたと思います。

科目名	(500014) 4000142F12100700 独立助産実践概論		
学科	助産研究科	履修者数	20人
学年	基礎2年	回収数	3人
必修・選択の別	必修	回収率	15.0%

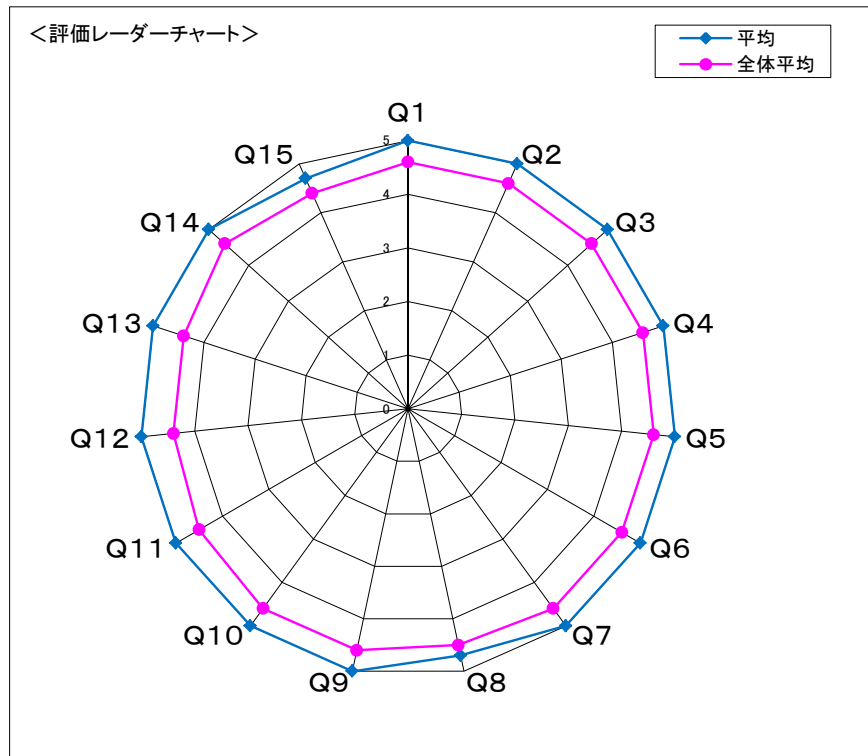
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	3	0	0	0	－	0	5.0	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	3	0	0	0	－	0	5.0	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	3	0	0	0	－	0	5.0	4.6
4. 授業の進行は適切だった	3	0	0	0	－	0	5.0	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	3	0	0	0	－	0	5.0	4.6
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	3	0	0	0	－	0	5.0	4.6
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	3	0	0	0	－	0	5.0	4.6
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	2	1	0	0	－	0	4.7	4.5
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	3	0	0	0	－	0	5.0	4.6
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	3	0	0	0	－	0	5.0	4.6
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	3	0	0	0	－	0	5.0	4.5
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	3	0	0	0	－	0	5.0	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	3	0	0	0	－	0	5.0	4.4
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	3	0	0	0	－	0	5.0	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	2	1	0	0	－	0	4.7	4.4

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

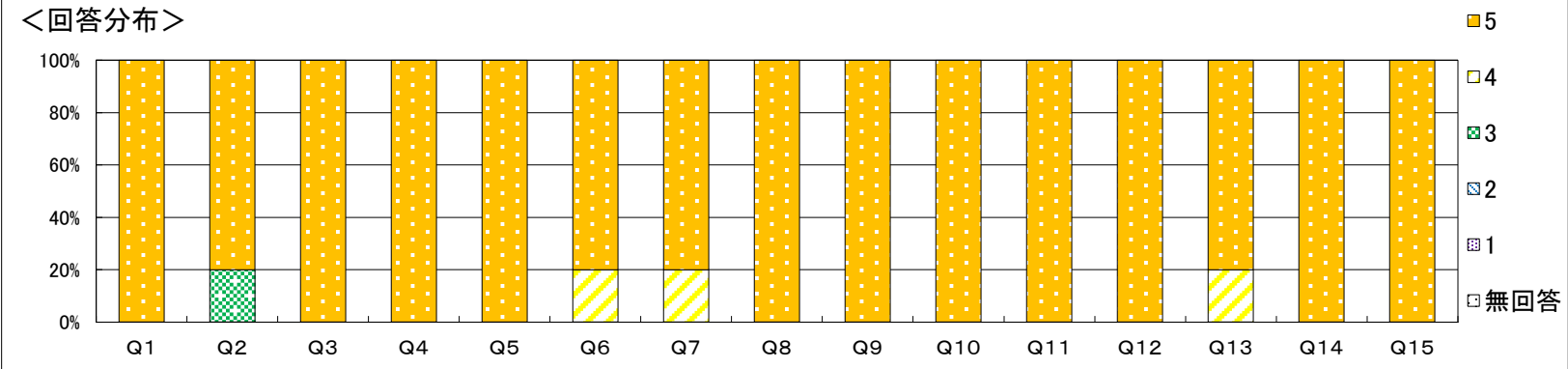
結果全体に対するコメント

科目名	(500015) 4000152F12100800 独立助産演習		
学科	助産研究科	履修者数	20人
学年	基礎2年	回収数	5人
必修・選択の別	必修	回収率	25.0%

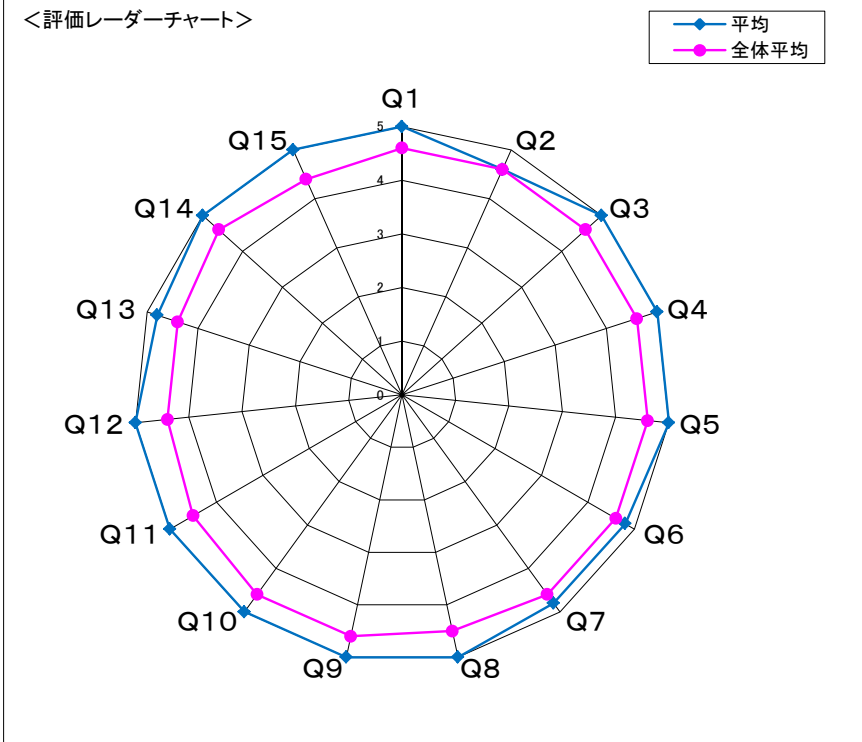
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	5	0	0	0	－	0	5.0	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	4	0	1	0	－	0	4.6	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	5	0	0	0	－	0	5.0	4.6
4. 授業の進行は適切だった	5	0	0	0	－	0	5.0	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	5	0	0	0	－	0	5.0	4.6
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	4	1	0	0	－	0	4.8	4.6
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	4	1	0	0	－	0	4.8	4.6
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	5	0	0	0	－	0	5.0	4.5
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	5	0	0	0	－	0	5.0	4.6
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	5	0	0	0	－	0	5.0	4.6
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	5	0	0	0	－	0	5.0	4.5
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	5	0	0	0	－	0	5.0	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	4	1	0	0	－	0	4.8	4.4
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	5	0	0	0	－	0	5.0	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	5	0	0	0	－	0	5.0	4.4

<回答分布>



<評価レーダーチャート>

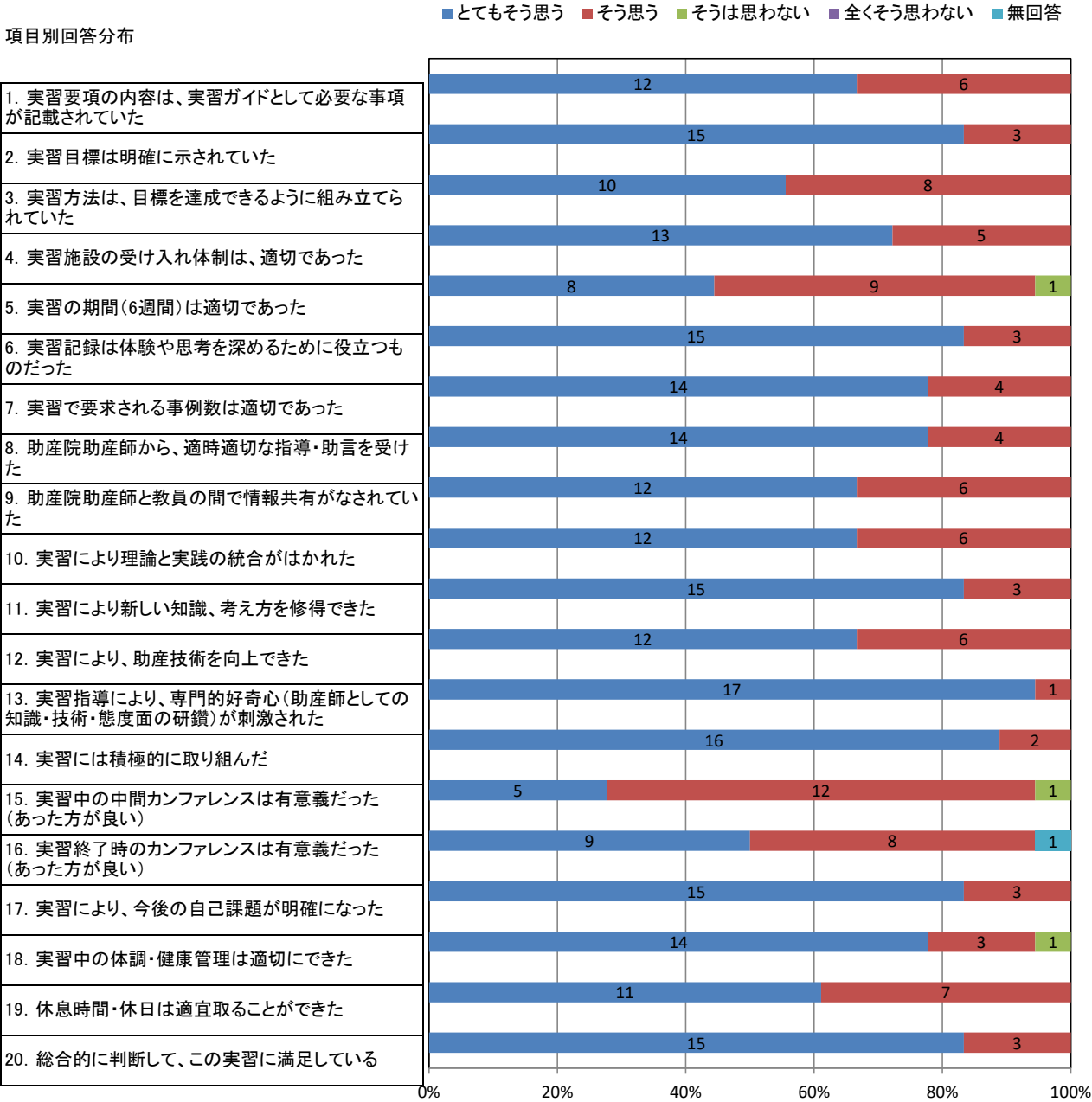


自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント

科目名	マタニティサイクル独立助産実習		
学科	助産研究科	履修者数	20人
学年	2年	回収数	18人
必修・選択の別	必修	回収率	90.0%

項目別回答分布



自由記載に対するコメント

・実習期間が長すぎるという記載があるが、なるべく長く継続した対象者を見ていくという目的があるので、適切であると考えている。
・中間カンファレンスの時間が長すぎるという事だった。カンファレンスに参加している学生の進捗状況を1人ずつ確認しているのだが、他の学生や他施設にもっと興味を持って出席してほしいと思う。

結果全体に対するコメント

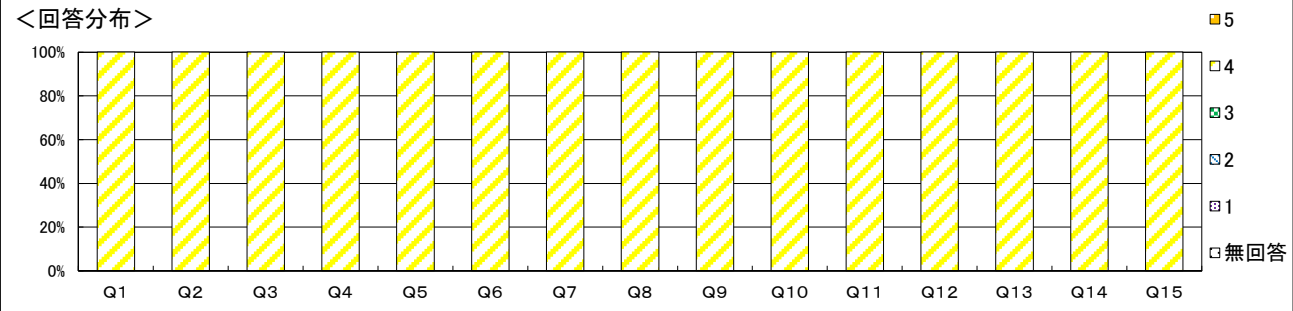
・評価にあるように、ほとんどの学生が積極的に実習に取り組むことができたことは、沢山の学びも得られたと考える。99%の分娩が、病院で扱われ無痛分娩が増え益々医療介入が増える中で、妊娠期をいかに健康に過ごすよう努力することが、自然分娩に繋がる近道であることを実習で学べたと思う。

科目名	(500030) 40000302F13100100 子育て支援論 I		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎1年	回収数	1人
必修・選択の別	必修	回収率	5.3%

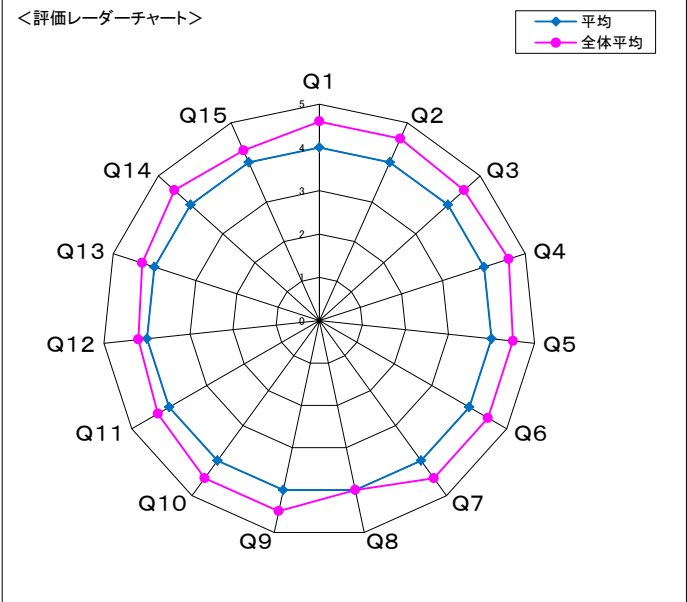
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	0	1	0	0	-	0	4.0	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	0	1	0	0	-	0	4.0	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	0	1	0	0	-	0	4.0	4.5
4. 授業の進行は適切だった	0	1	0	0	-	0	4.0	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	0	1	0	0	-	0	4.0	4.5
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	0	1	0	0	-	0	4.0	4.5
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	0	1	0	0	-	0	4.0	4.5
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	0	1	0	0	-	0	4.0	4.0
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	0	1	0	0	-	0	4.0	4.5
10. 教員は院生の質問・発言等適切に対応した	0	1	0	0	-	0	4.0	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	0	1	0	0	-	0	4.0	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	0	1	0	0	-	0	4.0	4.2
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	0	1	0	0	-	0	4.0	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	0	1	0	0	-	0	4.0	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	0	1	0	0	-	0	4.0	4.3

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント

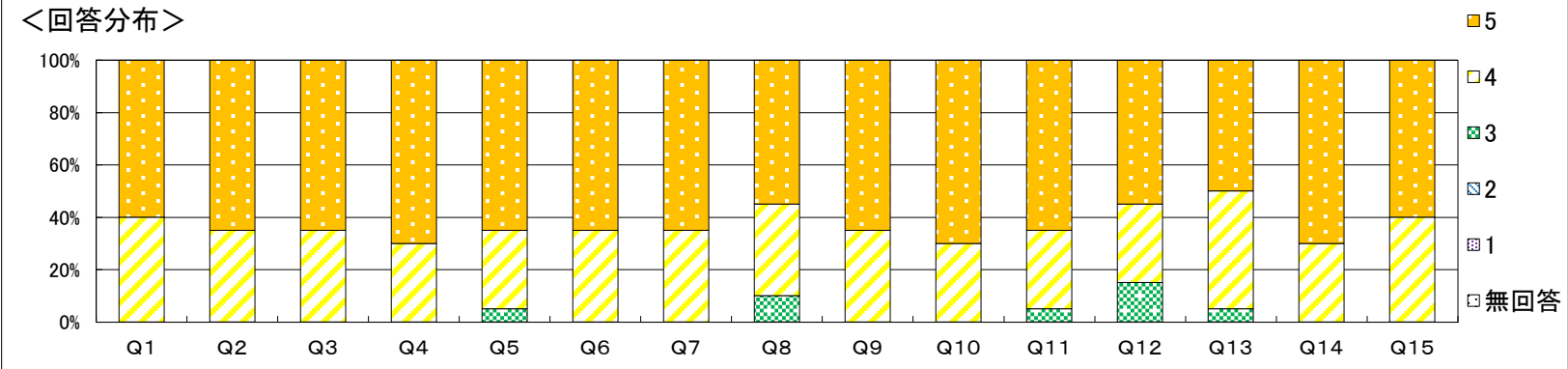
回答者が1名であり、回答率を上げることが必要です。この結果が、講義の評価だと言えない。講義の最終日にアナウンスをして、回答を促すことが必須だと考えます。

科目名	(500016) 4000162F13100400 性教育 I		
学科	助産研究科	履修者数	20人
学年	基礎2年	回収数	20人
必修・選択の別	必修	回収率	100.0%

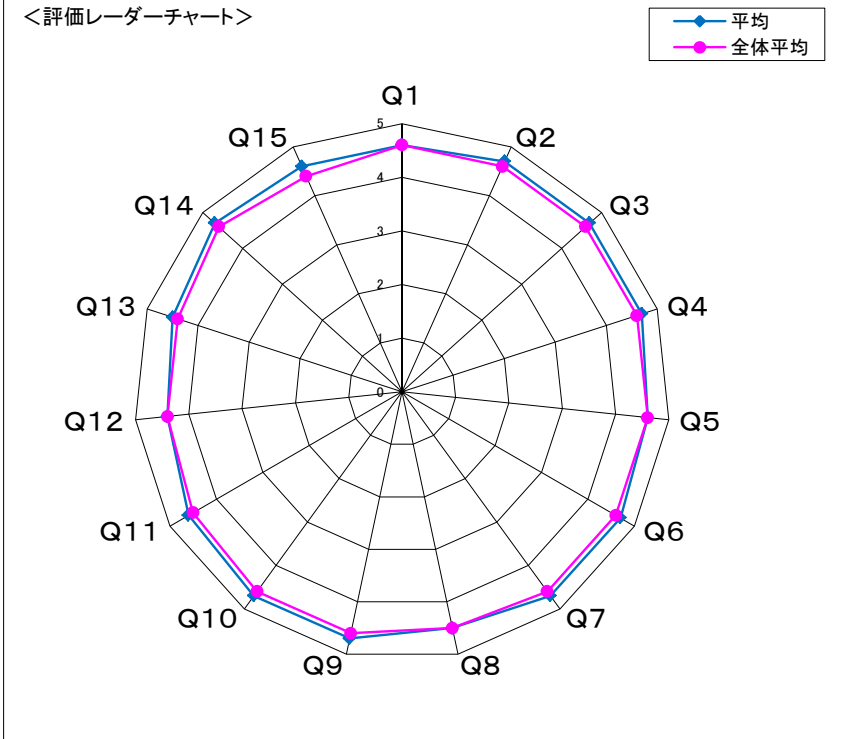
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	12	8	0	0	－	0	4.6	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	13	7	0	0	－	0	4.7	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	13	7	0	0	－	0	4.7	4.6
4. 授業の進行は適切だった	14	6	0	0	－	0	4.7	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	13	6	1	0	－	0	4.6	4.6
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	13	7	0	0	－	0	4.7	4.6
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	13	7	0	0	－	0	4.7	4.6
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	11	7	2	0	－	0	4.5	4.5
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	13	7	0	0	－	0	4.7	4.6
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	14	6	0	0	－	0	4.7	4.6
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	13	6	1	0	－	0	4.6	4.5
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	11	6	3	0	－	0	4.4	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	10	9	1	0	－	0	4.5	4.4
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	14	6	0	0	－	0	4.7	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	12	8	0	0	－	0	4.6	4.4

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント

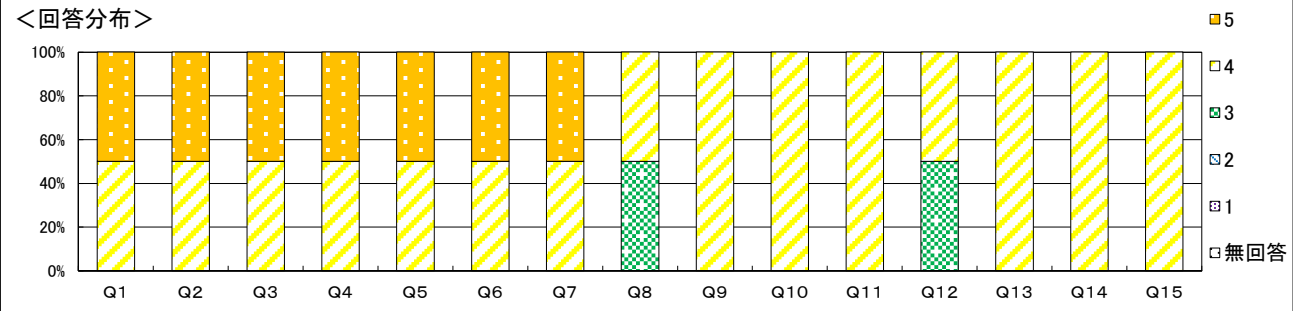
本科目の評価は、全体平均と同等もしくは上回っている。但し、評価3とする項目があるため、次年度はこの部分の改善を目指し検討していく。具体的には、課題内容と提出期限の検討を行うこととする。また、指定図書の活用について、授業中に積極的に指定図書とその活用方法を示すことや、学生自身が興味をもつことができるよう、授業中に文献等の検索やガイドライン類の確認を行っていく。

科目名	(500031) 40000312F13100700 ウィメンズヘルス I		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎1年	回収数	2人
必修・選択の別	必修	回収率	10.5%

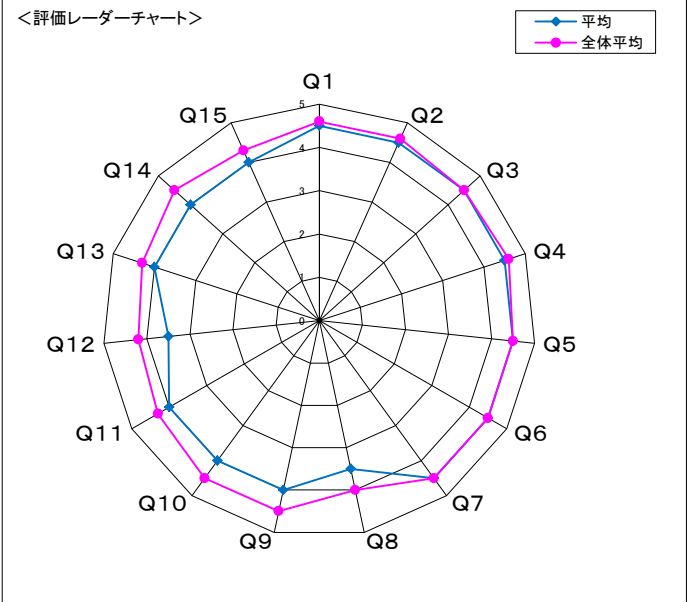
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	1	1	0	0	－	0	4.5	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	1	1	0	0	－	0	4.5	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	1	1	0	0	－	0	4.5	4.5
4. 授業の進行は適切だった	1	1	0	0	－	0	4.5	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	1	1	0	0	－	0	4.5	4.5
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	1	1	0	0	－	0	4.5	4.5
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	1	1	0	0	－	0	4.5	4.5
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	0	1	1	0	－	0	3.5	4.0
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	0	2	0	0	－	0	4.0	4.5
10. 教員は院生の質問・発言等適切に対応した	0	2	0	0	－	0	4.0	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	0	2	0	0	－	0	4.0	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	0	1	1	0	－	0	3.5	4.2
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	0	2	0	0	－	0	4.0	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	0	2	0	0	－	0	4.0	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	0	2	0	0	－	0	4.0	4.3

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント

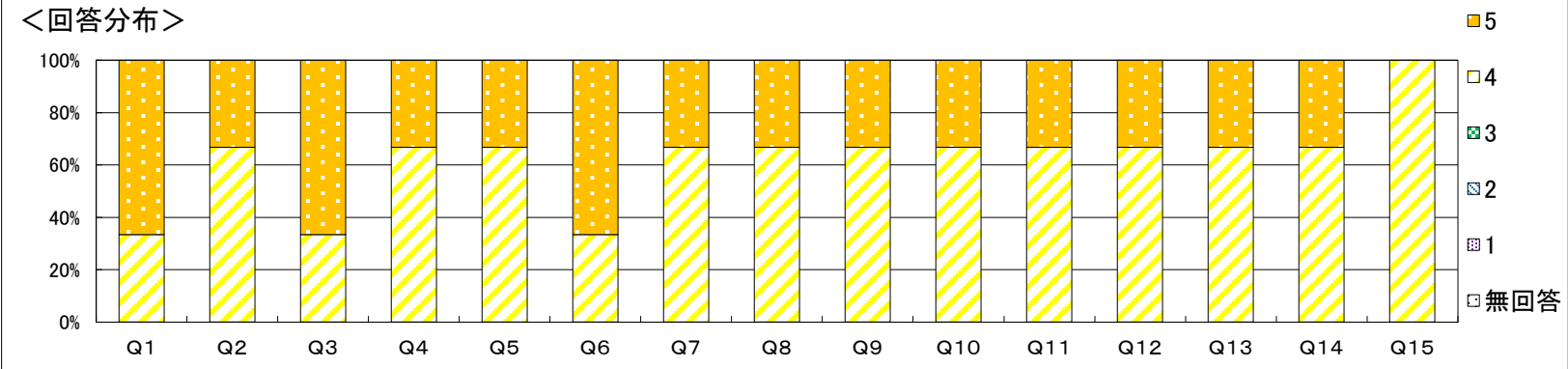
他の授業に比べると、時に聞いているだけの授業となることがあったように思う。そこで、考えを膨らませるためにレポートを課しているが、個人作業のため達成感が低いのかもしれない。今後、学生が積極的に授業に参加できるような工夫が必要と考える。

科目名	(500017) 4000172F13101000 国際助産学 I		
学科	助産研究科	履修者数	20人
学年	基礎2年	回収数	3人
必修・選択の別	必修	回収率	15.0%

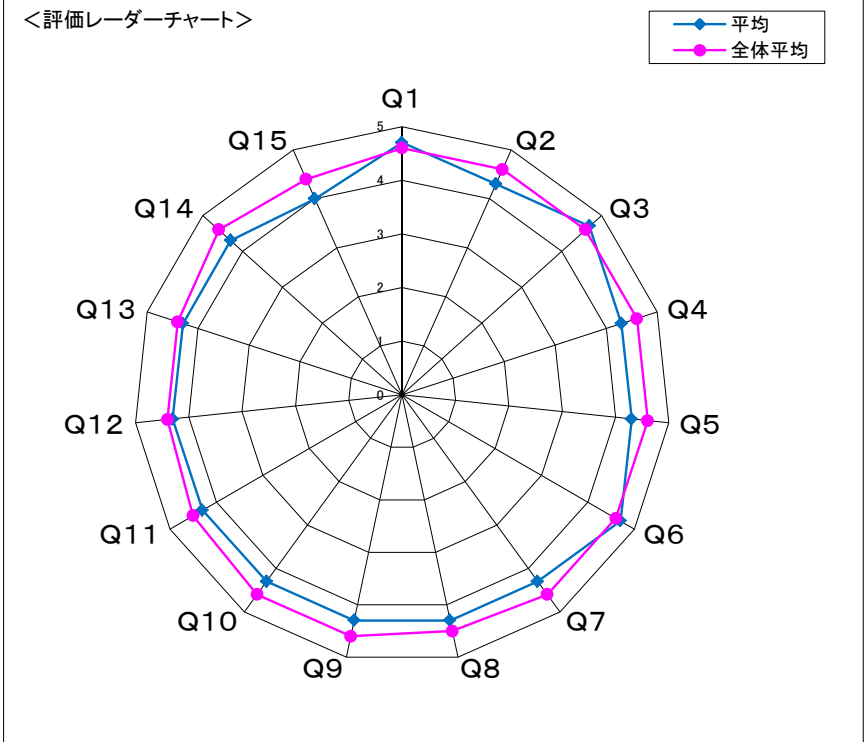
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	2	1	0	0	－	0	4.7	4.6
2. 授業の構成は体系的に行われていた	1	2	0	0	－	0	4.3	4.6
3. 授業の時間数は適当だった	2	1	0	0	－	0	4.7	4.6
4. 授業の進行は適切だった	1	2	0	0	－	0	4.3	4.6
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	1	2	0	0	－	0	4.3	4.6
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	2	1	0	0	－	0	4.7	4.6
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	1	2	0	0	－	0	4.3	4.6
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	1	2	0	0	－	0	4.3	4.5
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	1	2	0	0	－	0	4.3	4.6
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	1	2	0	0	－	0	4.3	4.6
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	1	2	0	0	－	0	4.3	4.5
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	1	2	0	0	－	0	4.3	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	1	2	0	0	－	0	4.3	4.4
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	1	2	0	0	－	0	4.3	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	0	3	0	0	－	0	4.0	4.4

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

自由記載に関するコメントは、ありませんでした

結果全体に対するコメント

お忙しい中、前期授業評価アンケートにご協力ありがとうございました。来年度は、より履修目標が達成できたと感じられるように精進いたします。国際助産学1の授業内容が、皆様の未来に役立つことを祈っております。